ニューズムック GO OUT Livin' Vol.6 2016年7月10日発行

外遊び好き28人の、おしゃれなインテリア&趣味部屋。

GO OUT Livin'

VOL.6

アウトドアギアと、部屋。

すぐマネできる、マネしたくなる。
キャンプギア収納&活用法。

おいしい料理は、こだわりの空間から生まれる。
アウトドア好きの、部屋とキッチン。

BESS

株式会社アールシーコア BESS（ベス）本部 〒153-0042 東京都目黒区青葉台1-4-5 JASDAQ［証券コード 7837］

凡庸な毎日は送りたくない。角がとれて丸くなるんじゃなくて、いくつになっても無邪気と無謀を捨てたくない。

「住む」より「楽しむ」BESSの家 www.bess.jp/

STEELE
IBU.
STEELE

GO OUT Livin'

CONTENTS

VOL.6

外遊び好き28人の、趣味とキャンプなインテリア。
006 アウトドアギアと、部屋。

すぐマネできる、マネしたくなる。
030 キャンプギア収納＆活用法。

おいしい料理は、こだわりの空間から生まれる。
054 アウトドア好きの、部屋とキッチン。

アパレルブランドが手掛けるおしゃれインテリアグッズを厳選。
080 FASHION FLAVOR LIVING GEAR CATALOG

人気ショップに学ぶ、ユニークでオシャレなグッドディスプレイ。
106 SHOP DISPLAY STYLE SAMPLE

VOIRY STORE ／ fridge setagaya 別館二階 ／ SNOW SHOVELING BOOKS & GALLERY ／
INOUT ／ TITLES ／ WORK HANDS

OUTDOOR Lover's INTERIOR

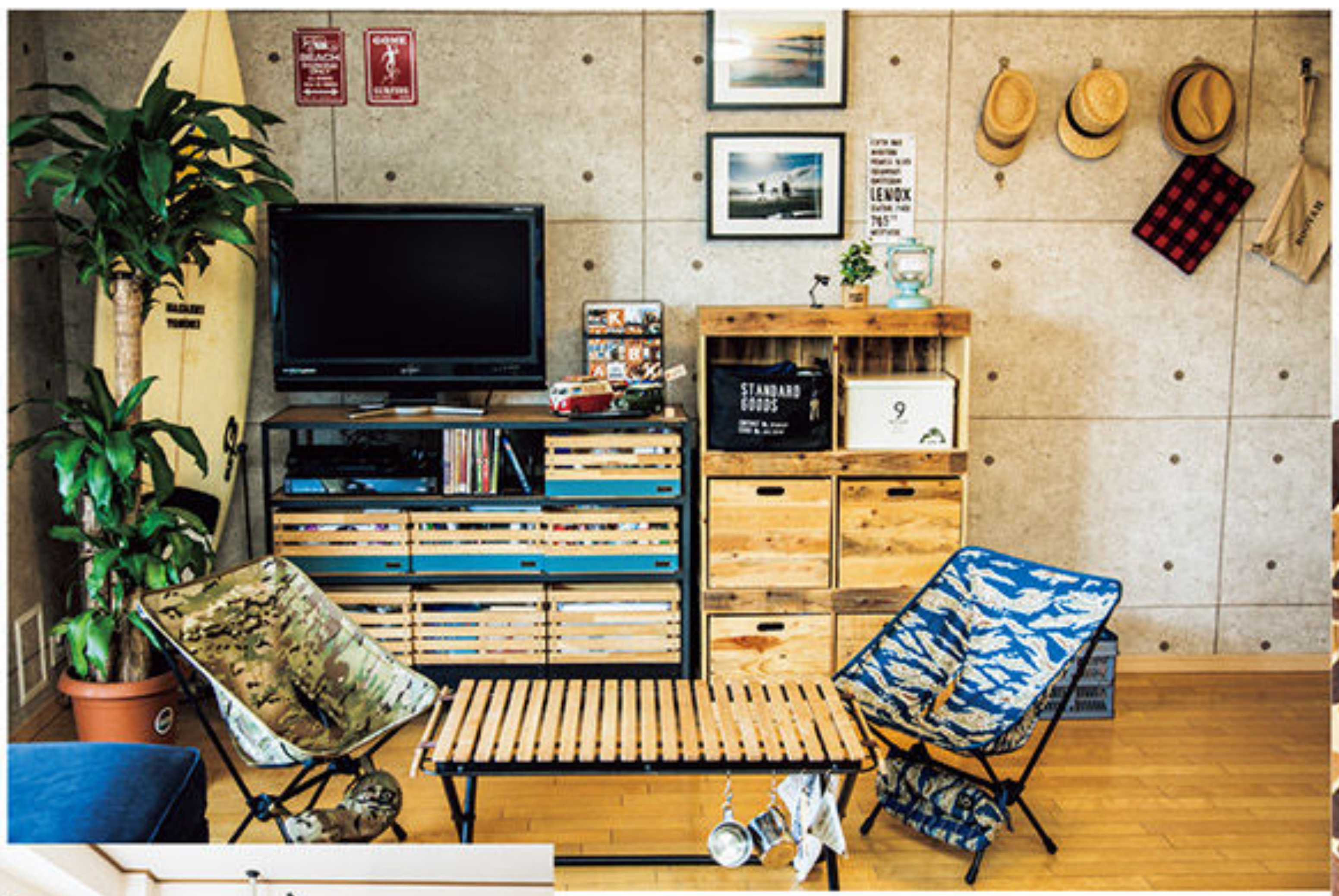
外遊び好き28人の、趣味とキャンプなインテリア。

アウトドアギアと、部屋。

お気に入りを見つけるたびに増えるギアたちは、しまっておくにも工夫が必要。
いっそのこと家で使ってみたら、これが意外としっくりくるじゃないか。
ウッドのテーブルに、コンフォートチェア、食器はマグとクッカーで
デイジーチェーンとカラビナは収納にも便利！なんてやっていたら、
気づけばこの部屋でもキャンプができそうだ。

GRANITE
TACTICAL
GEAR
Petromax
GERMANY

ORGANIC


STANDARD
GOODS
LENOX

庭に設けられたウッドデッキでくつろぐ藤井さんと奥様。奥様が座るハンモックのファブリックはコットン素材のもので、自宅近くにあるキッズショップで購入したとのこと。

ROOM

OUTDOOR Lover's INTERIOR 01

》間取り 3LDK

ROOM SPEC
エリア：神奈川県藤沢市
居住年数：6年
住宅形態：分譲戸建て
築年数：6年

THE NORTH FACE 鎌倉店
店長
藤井 忍さん（37歳）

玄関スペースには藤井さんの手作りによるラックが設置され、そこにはライフスタイルとなっているサーフィンのサーフボードや、スノーボードの板が収納されている。

常にサーフィン＆海のある生活を実現してくれる秘密基地。

アウトドアウェア&ギアのトップブランド、〈ザ・ノース・フェイス〉鎌倉店で店長を務める藤井さん。約6年前に注文住宅を購入し、藤井さんの理想に近い家作りがなされている。

そんな藤井家のポイントといえるのが、広々としたウッドデッキだ。1階の玄関脇に設けられたウッドデッキにはハンモックが常設されるほか、趣味であるサーフィンのウェットスーツを乾かしたりサーフボードが置かれたりしている。さらにウッドデッキは1階だけじゃなく2階のリビング脇にも設けられ、そこでは家族や友人たちとバーベキューを楽しんだり、ビール片手に夜空を眺めたりと、湘南の自然を存分に堪能しているのだ。

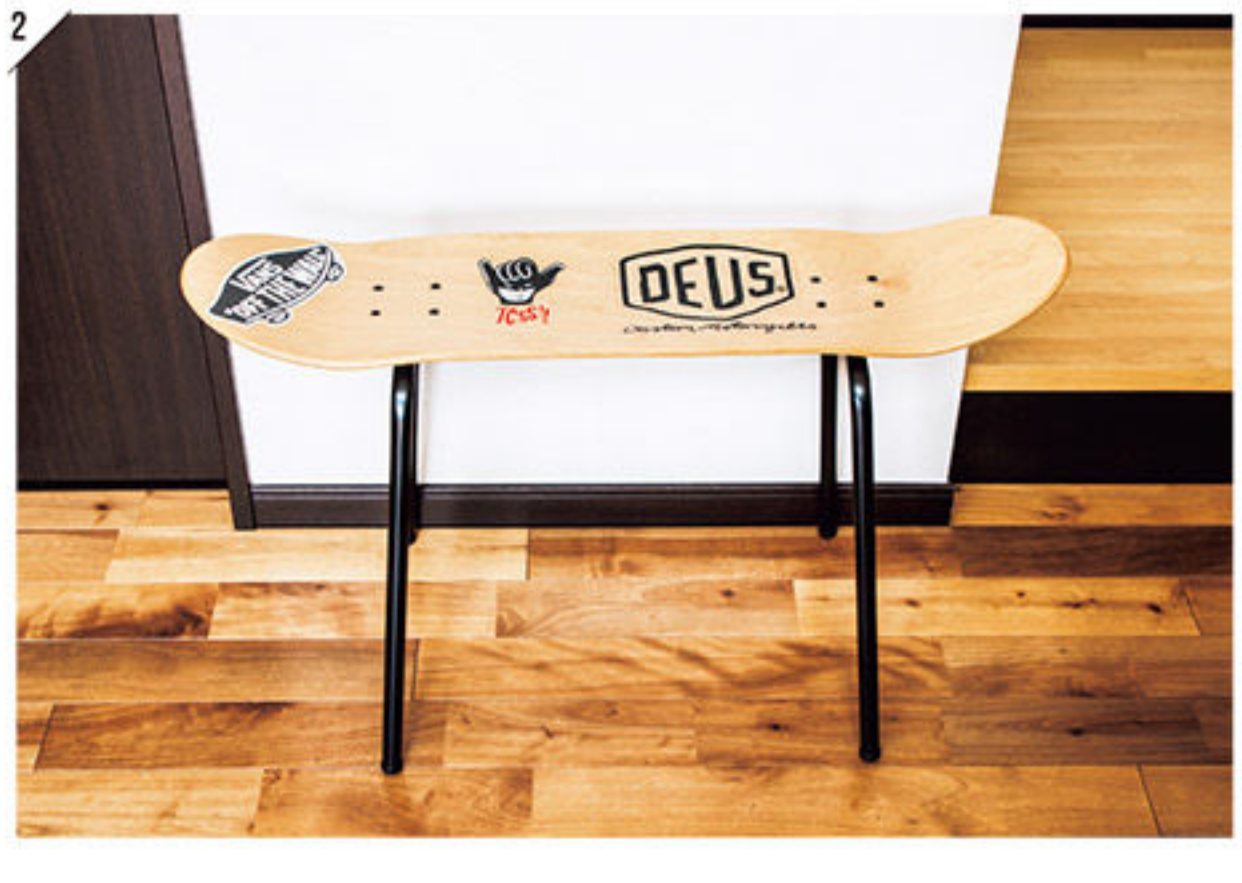
「僕はもともと静岡の沼津で育ちました。そこは港町なので海沿いなのですが、山もめちゃくちゃ近くて沢ガニとかたくさん獲れるような環境。湘南も海沿いなのに山も近いし、ボクのふるさとに似ているんですよね」。

また、2階リビングは木の質感をいかして広々とした作り。そこには趣味のサーフテイストを感じさせる雑貨や小物を散りばめて、藤井さんにとって居心地のよい空間となっている。中でも目をひくのが、勤務先である〈ザ・ノース・フェイス〉のグッズ類。何気ない雑貨でも、このロゴひとつでソリッドな雰囲気をまとってしまうとは、まるで魔法のよう。

木を基調にして山テイストがあふれる室内だが、サーフィンなど海を感じさせる雑貨も各所に散りばめた、藤井さんのアイデンティティといっても過言ではない家といえる。

Photo ／ Hiroyuki Yamada　Text / Arata Homma

2



1

1_ 階段の途中にある窓枠を、飾り棚として利用。キャンプで実際に使っているというオイルランタンや窓枠や手すりのブラウン、グリーンの配色がさり気なく調和されている。

2_ 以前勤務していた＜ザ・ノース・フェイス＞の木更津店から人事異動する際に、職場の友人たちから送別でプレゼントされた、＜デウス エクス マキナ＞のスケートボードチェア。

広々としたリビングのフローリングに使われている材木は、桜。約６年間という時間の中で使い込まれてきたことで、若干あめ色がかった色味と艶が出てきている。

1

2

1_２階に設けられた日よけのパラソルは、一見アウトドアショップなどで購入したものと思いきや、近所のホームセンターで普通に売っていた。湘南の土地柄ならではといえる。

2_デニムのソファとクッションは、自宅近くのキッズショップで購入した代物。ソファのファブリックはデニムパンツのリメイクで、ポケットを実際に小物入れにできるのがおもしろい。

玄関スペースの一角に設置された小物入れ。デニムのエプロンをピンによって壁に刺して固定し、カギやサングラスなど小物類の収納バッグとして活躍している。

キャンプやサーフィンなど外遊びで実際に使っている＜イグルー＞のクーラーバッグ。観葉植物の脇に置いて、アウトドアテイストを漂わすインテリアとしても活用している。

1_ ウッドデッキとリビングを仕切るフローリングに敷かれたポップなラグマットは、カリフォルニア州の州旗をそのまま落とし込んだデザインで、部屋全体のテイストにマッチするアイテム。

2_ ソファの脇に置かれた木製の樽は雑誌入れとして使用。＜バンズ＞の写真集などアメリカ西海岸の風を感じさせるアイテムの組み合わせで、藤井さんの世界観を垣間見せている。

3_ 天井の梁の部分には、麻ひもを使い植物を吊るしてディスプレイ。＜ザ・ノース・フェイス＞の飯ごう炊飯のジャーを観葉植物のプランターに流用し、アウトドアテイストがあふれる。

2

1

3

ROOM

OUTDOOR Lover's INTERIOR 02

会社員
祢原雅史さん
会社員
祢原友美さん
RoomClip 名：TMS

》間取り
2LDK

ROOM SPEC
エリア：東京都葛飾区
居住年数：２年６ヵ月
住宅形態：分譲マンション
築年数：11 年
物件紹介：RoomClip
（http://roomclip.jp/）

1_ ミニチュアにプラント、<コールマン>のステッカーを貼ったランタンが並ぶ。<パタゴニア>のゴミ箱、<ヘリノックス>のチェアなど、アウトドアなディスプレイはほかにも。

2_ 食卓は<イナウト>のタートルテーブル。屋外で映える持ち運びしやすいロールトップ仕様をあえてインドアで使っている。サイドに飾ったステンレスマグが外遊び感を演出。

3_ 硬くクールな印象の壁やスチールと、温かみあるウッドのメリハリが絶妙。適度にミニチュアで遊び心を加え、狙い過ぎ感が出ないようにしているのもポイントだ。

2

1

3

こだわりの壁紙とインテリアチョイスが、都会的ムードの源。

海辺のコテージを目指した祢原さん宅。インテリアに関しては奥さんが主導し、ご主人は「ダサくしなきゃいい」の姿勢を貫いているそう。コンクリ打ちっ放し風の壁も彼女の希望。「パッと見だとわかりませんが、実はウォールペーパーなんです。本物のコンクリだと穴が開けられませんし、寒々しくなりがち。オシャレなルックスだけほしくて、家を買ったらこの壁紙にしようと決めていました」。

壁とのコントラストがはえるウッド系ファニチャーは＜イナウト＞を中心に。「ゴーアウトキャンプのブース出展で出会い、夫婦そろってひと目惚れ。ぜひ新居のメインにしたいと思って。テーブルは屋外使用ＯＫの折り畳み式なのに、完全に家の中でしか活躍させていません（笑）」。

ウエットスーツやサーフボードといった、サーフィン歴15年を誇るご主人の愛用品は無理に収納せず、玄関周りに整頓。毎週末の海通いがスムーズにできるよう配慮している。随所に飾られた写真の中には奥さんの作品も多く存在。「主人に付き合って海へ行き、彼や風景、友人たちを被写体にしています」。撮影の腕前はスマートフォンアプリ、ルームクリップでも披露を。我が家のお気に入りポイントをいくつか投稿しているとか。「いずれは天井を照明含めてチェンジさせたいです。パイプ剥き出しみたいにラフなノリがいいかも。せっかくの自分たちの城。思い通りにリフォームしないと！」と奥さん。ご主人によると「カワイイよりカッコよくしたいのが二人の共通した価値観。ここにズレがないから安心して任せられます。もしキュート系に傾いたら、さすがに私も口出しするでしょうね」。

＜ヘリノックス＞のチェアはソファと併用して日常的に使っている。「見た目以上に座り心地がよく、来客時にはマスト。持ち運びやすいので、外に連れ出すこともありますよ」。

テレビ台にしているシェルフ、中のウッドボックスはともに＜イナウト＞で。テーブルとそろえることで洗練されたイメージを実現した。横のアンティーク感のある収納は＜ニコアンド＞。

額装した写真だけでなく、沖縄や雑貨屋で購入したナンバープレートとハワイ産のポスターも壁に。並べる際、左右と天地のラインをしっかりそろえるのが、美しく見せる秘訣。

棚はホームセンターで材料をそろえてD.I.Y.した。洋服掛けやディスプレイスペースとして活用している。「壁に穴を開けられさえすれば、比較的簡単に実行できます」。

1

2

3

1_ 千葉や茨城の海に毎週出陣するご主人のため、サーフギアは玄関そばにまとめて配置。ウェットスーツを掛けているフックは<イケア>でまとめ買いし、必要に応じて追加している。

2_2 人の結婚式で使ったウェルカムボードは、愛用していたサーフボードがベース。もともとご思い入れが深いアイテムのうえ、大切なメモリアルグッズなので捨てずにインテリア化した。

3_ サーフモチーフのグラフィックがユニークなポスターはハワイにて購入したアイテム。「サーフィン好きならハワイがハズせません。年中行けないからこそ雰囲気だけでも味わいたくて」。

キッチン周辺もウッドが多め。あまり詰め込まず、余裕ある収納を心がけているからスッキリとした印象に。必要以上の食器類を持たないことが整理術の基本かも。

1＿＜トヨトミ＞が誇る傑作ストーブのレインボーは、アメリカからの逆輸入カラーを。デッドストックで見つけた日本製のガードが、アンティーク感の強調に一役買っている。

2＿「沈上等で攻めまくっています」という、＜アルパカラフト＞のパックラフト。乾燥のために空気を抜かず立てかけられた姿が、アウトドア感あるインテリアに寄与する。

1

2

玄関を入ると＜マウンテンリサーチ＞の大人気アイテム、焚き火クッションがお出迎え。一緒に飾ったアジな古材は＜ギャラップ＞で購入した。＜ペトロマックス＞のランタンとの相乗効果で、アウトドアなにおいがタップリ。

ROOM

OUTDOOR Lover's INTERIOR 03

newlanders
newlanders 町川一仁さん
MAYUMI さん
An ちゃん
cona ちゃん

》間取り
3LDK

ROOM SPEC
エリア：神奈川県平塚市
居住年数：6年
住宅形態：戸建（持ち家）
築年数：6年

ギアホリック垂涎の、レアなアイテムをデイリーユース！

アウトドアフリークであり、さまざまなギアを保有している町川さん。「大量生産されたアイテムはあまり好まず、ワンオフ系を中心に稀少な逸品ばかり収集しています」。

マイホームに対するこだわりも強く、天井や壁、床に使用する木材をそれぞれ指定したり、2階はパーティーションのないワンフロアにしたり、細かい部分まで妥協せず建てたそう。「外観は時間とともに味わいが出てくるような雰囲気を目指しました。外から見えないよう、塀を高くしたデッキもポイントですね」。

リビングでは＜マウンテンリサーチ×バイヤー＞のアメコミ柄チェアや＜マウンテンリサーチ×バリスティックス＞初コラボのローバーチェア、＜タコマフジレコード＞の1stマグカップなど、入手困難なお宝がズラリ。「10代の頃から何でもこだわってチョイスしてきました。好みに合わなかったら処分して、今残っているのは本当のお気に入りのみ」。

町川さん的にインテリアとしても活用できるアウトドアギアとは「キャンプで使えて、ディスプレイに相応しい見た目であること」だとか。結果、実用性とルックスを兼備する名作たちが普段使いの対象に。「洋服は少し寝かせ、新品が買えなくなったくらいのタイミングで下ろします。旬ど真ん中だとみんなが同じで恥ずかしくて……。それに、時間が経ってしまうと着られなくなるデザインなら、いつ着てもダメだと思うんです。ギアも同じ感覚。誰もが飛びつく人気アイテムは、被りまくって気まずいでしょう？ そうならないよう意識していたら、一点モノや古いモノが今の僕の現役ギアになっていました」。

＜バリスティックス＞のカバーが装着されたチェアと＜ペレグリンファニチャー＞のテーブルを、風合いがいいベース板使用のウッドデッキに。「ただし、約 10 年しか保たないそう。次は耐久性のある木材にする予定です」。

リビングのプレートは 9 Dream の成田さんからの贈り物。「ワッペンでカスタムされた<山と道>のザックも、<ウルトラヘビー>のデザインなどを手がけるジェリー鵜飼さんにいただきました」。

2

1

3

1_ 2階はダイニングとリビング、フリースペースをワンフロアにまとめ、広々としたウッドデッキも。<プレイマウンテン>のコーヒーテーブルは友人からのプレゼントで20 年選手だそう。

2_ <イデー>で購入したテーブルを<マウンテンリサーチ×バイヤー>や<マウンテンリサーチ×バリスティックス>などのチェアが囲む。栗の木を使用した床も美しい仕上がりだ。

3_ キッチンのカウンターをデコレートするプランターたち。さまざまなアウトドアブランドのマグカップや花瓶が使われているが、ほとんどが入手困難なワンオフばかり。

パンの木に吊るされたキャンドルランタンは、<ユーコ>に<マウンテンリサーチ>が別注したスペシャルカラー版。'08 年に発売された 3 キャンドルタイプで、現在も再販を望む声が多数とされている。

端切れで作られた<ブラウン バイ ツータックス>のしかくんが階段横の窓に座る。「ニットキャップは妻が娘に編んだのですが、被ってくれないため譲ってあげました」。

3

1_ 複数所有しディスプレイに利用しているのが<ブラウン バイ ツータックス>のファニーフェイスマグ。「手作りでひとつひとつ表情が違う、まさにワンオフなのがたまりません」。

2_ <メディコム トイ>が復刻した、映画「時計じかけのオレンジ」に登場するキリストのオブジェ。「1 対ずつ販売されていたのを、劇中通り 4 体にしたくて2セット購入しました」。

3_ 奈良美智さんのポスターや<ブランクス>のデザイナーである神山隆二さん直筆のイラスト、<バリスティックス>のチェアが飾られたフリースペース。「友人のお店にあった看板も添えて」。

1

2

木製の自作家具やランタン、アウトドアシューズを始め、ネイチャー感あふれるモチーフに飾られたお部屋。ランタンの下に泳ぐ魚のステッカーも＜パタゴニア＞で購入。釣り好きでもある家主のキャラクターを浮き彫りにする。

ROOM

OUTDOOR Lover's INTERIOR 04

》間取り
1K

ROOM SPEC
エリア：茨城県つくば市
居住年数：3ヵ月
住宅形態：社宅
築年数：1年
物件紹介：RoomClip
（http://roomclip.jp/）

シューズストア店長
千葉誠也さん（29歳）
RoomClip 名：chibababababa

「Bカンパニー」で約3万円のソファーには＜ペンドルトン＞のブランケットや＜メロウィングス＞の"ログ"クッションなど、外好きおなじみのアイテムがアクセントを添える。

時間とともに風合いを変えるインテリアがつくる、山小屋の表情。

靴好きが高じ、シューズストアに勤務する千葉さん。かねてから登山靴にも愛着を持っていたが、主にファッションの観点から。それが真のアウトドア好きとなったのが5年ほど前。陣馬山に登ったのをきっかけに登山の魅力に取り付かれ、今では雄大な景色や山中ですするコーヒーの味わい、そして登頂を果たしたときの達成感と、山のあらゆる魅力が彼の脳裏に焼き付いている。

ただし相手は自然。気候を無視しては無論、痛い目に合う。夏場のベストシーズンを集中的に攻め、年に5、6回ほど登るというが「もっと山の空気に触れていたい」と思うのが山好き。かくして千葉さんのお部屋のテーマは、ずばり"山小屋"だ。

随所に顔を出すおなじみのアウトドアギアや、いくつも飾られたランタンはもちろん、彼のお部屋を山小屋たらしめているのが木製の家具たち。角材を用いて自作したパソコンテーブルや、すのこをオイルステインで味付けした立て掛け収納を始め、休日にはD.I.Y.に精を出す。

「転勤族のため、今回の家で引っ越しも4回目。好き放題にはいじくれない社宅で自分好みの空間をつくり出すのにも、ずいぶんと慣れてきました」と笑って話してくれたが、もうひとつ欠かすことのできないのが、ヴィンテージ調のインテリアだ。

木製の家具もヴィンテージ調のインテリアも、千葉さんは「その経年変化の趣が好き」と言う。時を経るごとに変わっていく風合いが、季節とともに移ろう山の景色に似ているからだろうか。けっして時間に抗うことなく自然と変わりゆく家具やインテリアの表情が、千葉さんのお部屋を山小屋へと変えていく。

履き古したシューズをプランターにしてしまう、盗みたいアイデア。千葉さんは内部にシートを詰め、土とグリーンを入れているそう。靴が置かれた芝生シートは意外にも100円ショップ「セリア」でGET。

ベランダには<ロゴス>で 4000 円ほどだったという折り畳み式チェアと「3 コインズプラス」で購入したローテーブルを持ち込み、自宅でもアウトドアを感じられるスペースに。

1_ 玄関の壁を活用したサンダル収納。粘着テープ式のフックを貼り、ロープとカラビナ 2 個で吊した単純構造だが、ロープの結び方は " 二重 8 の字結び " というから、さすが山好き。

2_ シューズストア店長とあって、靴のコレクションも多数。ラックは量販店などで購入しているが、左側の木製ラックは「ドン・キホーテ」で 2 段 800 円の品を 3 つ重ねているそう。

2

1

3

1

2

1_ ＜コールマン＞のランタン、実はガチャポンでGETできるミニチュアだ。シルエットからロゴまで各年代の名物ランタンが忠実に再現され、家主はすべてコンプリートしたそう。

2_ ネット通販で1万円ほどだった暖炉風ファンヒーター。ヒーター機能をオンにしなくとも疑似の炎が赤く灯り、夏場もしまわずインテリアとして、山小屋風のお部屋で活躍中だ。

3_ マグやネクタイは複数重ねた「セリア」の木箱に入れて"見せる収納"。腕時計のディスプレーとして使用しているのも「セリア」で見付けたマスキングテープ用のラックだとか。

2

2_ ホームセンターで1000円ほどだったすのこにオイルステインを塗り、ヴィンテージ調の風合いに。玄関手前の壁に立て掛け、アウトドアに出掛ける際に欠かせない小物を引っ掛けている。

1_ ＜コールマン＞のペール缶をベッドのサイドテーブルとして活用。カーテンの上にはフリスビーが飾られているが、外遊び好きには定番の＜マスターピース＞や＜チャムス＞などのプロダクト。

1

ライトはアメリカのヴィンテージのもので、板の後ろにコードを隠すように工夫が。アウトドア用のロープを板につけて、S字フックが掛けれるようにしている。

フォークリフトでの運搬に使われるコンパネに、溶接した鉄の脚を付けて自作したローテーブル。「倉庫の前で落ちていたコンパネを見つけて、譲ってもらいました」。

アウトドアグッズを、自作の家具に並べて。

ROOM 05
OUTDOOR Lover's INTERIOR

会社員
岸本賢悟さん（34歳）
岸本 久美子さん（33歳）

間取り
2DK

ROOM SPEC
エリア：大阪府豊中市
居住年数：2年
住宅形態：賃貸マンション
築年数：30年

岸本さんの趣味は、バスフィッシングやキャンプ、そしてD.I.Y.だ。「休日はもちろん仕事の後も、気分転換に小物にヤスリをかけたりしてますね。知人の工場で溶接をさせてもらって、鉄でテーブルの脚など作ってもいます。溶接の機械はいろいろなところにあるし、材料だけなら数百円でできるんですよ」と、さまざまなD.I.Y.に取り組んでいる。

部屋には、アウトドアギアのほかヴィンテージのアメリカの照明など岸本さんの個性が光る小物がチラホラ。雑貨も多いのだが、カーテンやソファをダークトーンにしているため、統一感が出て引き締まった印象だ。雑貨はひとまとめにして見せて、ディスプレイと隠すところのメリハリをつけるのが、スッキリとした部屋づくりの鍵となっている。

3

1

2

3_ シルバー色のガソリンストーブは<コールマン>のもの。通常は緑色でロゴなどがプリントされているのだが、剥離剤で塗装を落とし、サンドペーパーで磨きをかけた。

2_ バス釣りに使用する、バスフィッシングのワームやルアー類。大阪在住なので、琵琶湖がフィッシングポイント。気分転換もかねて、月に一回ほど出かけている。

1_ 折り畳めるローテーブルもD.I.Y.で、鉄の脚も溶接した。板が一枚一枚バラせるようになっており、収納しやすい。流木やテントなどアウトドアなテイストでそろえて。

リビングの床と天井部分にホームセンターで購入した金具で板をとりつけ、そこに飾り棚を作っている。これで、壁に穴を開けることなく飾り棚が取り付け可能に。

このデッキを使ったテーブルも、自身で溶接した脚をつけた自作のもの。植物は奥様がセレクトし、家具やテーブルは岸本さんがセレクトすることが多いそう。

1_ キッチンでは、キャンプ用のゴミ箱をこまごまとしたものの収納に活用。キャンプにももちろん持っていく。アウトドア用品も、部屋と外の境目なく自然に使っている。

2_ 工具入れを板に取り付けて、写真などをディスプレイしている。部屋に板があることで、こうした小物を飾る入れ物を取り付けることもできる。真似したいアイデアだ。

3_ 玄関前にはデッキやヘルメット、サングラスなどを無造作に置いている。手前にあるカラフルなオブジェのようなものは、ガラス工場で端材をもらってきたものだ。

2

1

3

3

1

2

1_ 寝室に掛けられた＜パタゴニア＞などのお気に入りのウエア群。グレーのTシャツには上京するために前の職場を退社した際、仕事仲間たちからもらった無数の寄せ書きが配されている。

2_ ベランダに置かれたハンモックは約6年前から愛用中。晴れた日にはテーブルもベランダに出して、ハンモックに寝そべって読書をしながら、コーヒーを飲むのが楽しみとか。

3_ 寝室の収納にはウェットスーツ類を収納。さらにその手前に「コストコ」で購入した大型プラ容器を置き、中にはトレラン用のシャツやパンツを輪ゴムで結束してコンパクトに収納。

ROOM 06

OUTDOOR Lover's INTERIOR

》間取り
1LDK

ROOM SPEC
エリア：東京都八王子市
居住年数：6ヵ月
住宅形態：賃貸マンション
築年数：約30年

MoonlightGear
スタッフ
服部賢治さん（30歳）

大好きなアウトドアアクティブを、存分に楽しむための部屋。

世界中から厳選されたアウトドア用品のみをセレクトして販売し、新しい山の過ごし方を提案するショップ、「ムーンライトギア」。そこでショップスタッフを務めている服部さん。

服部さんは2015年の11月から東京は高尾山登山口まで5分という立地のこの部屋に住んでいる。それ以前は大阪のアウトドアショップに勤務しながら神戸の芦屋に住んでいた。その部屋も六甲山の登山口へ5分もかからず行けるという立地。まさに彼のライフスタイルはアウトドアアクティブが中心にあると言っても過言じゃない。高尾山では主にトレイルランニングを楽しみ、雪が積もればスノーボード、波がよければサーフィンと、オールマイティに自然で遊んでいるのだ。

そんな服部さんの部屋は、当然アウトドア用のグッズがあふれている。テーブルやチェアはもちろんアウトドアギアで、ソファはコットを流用。さらにキッチンでは外での調理と同様に鉄のオーブンとシェラカップを活用している。

「いつでもトレイルラニングができるように、この部屋に決めました。トレイルランニング愛好家の友人たちも近所にたくさん住んでいますね。遠方から高尾山で走るのを目的に友人が来る際には、だいたいウチに泊まって朝から走りに行きます」。

日本有数のパワースポットとして知られる高尾山は、ほかにもミシュラン社のガイドブックで三ツ星を獲得できたほどの名所としても知られる。そんな場所を服部さんは全身全霊をかけて楽しんでいる。こんなに好きなものに囲まれて生活できるとは、なんともうらやましい限りだ。

無垢の木とグリーンを基調にしたネイティブ感あふれるリビング。床はフローリングだが、服部さんお気に入りの大判のラグを敷詰めて、より暖かみのある雰囲気を演出する。

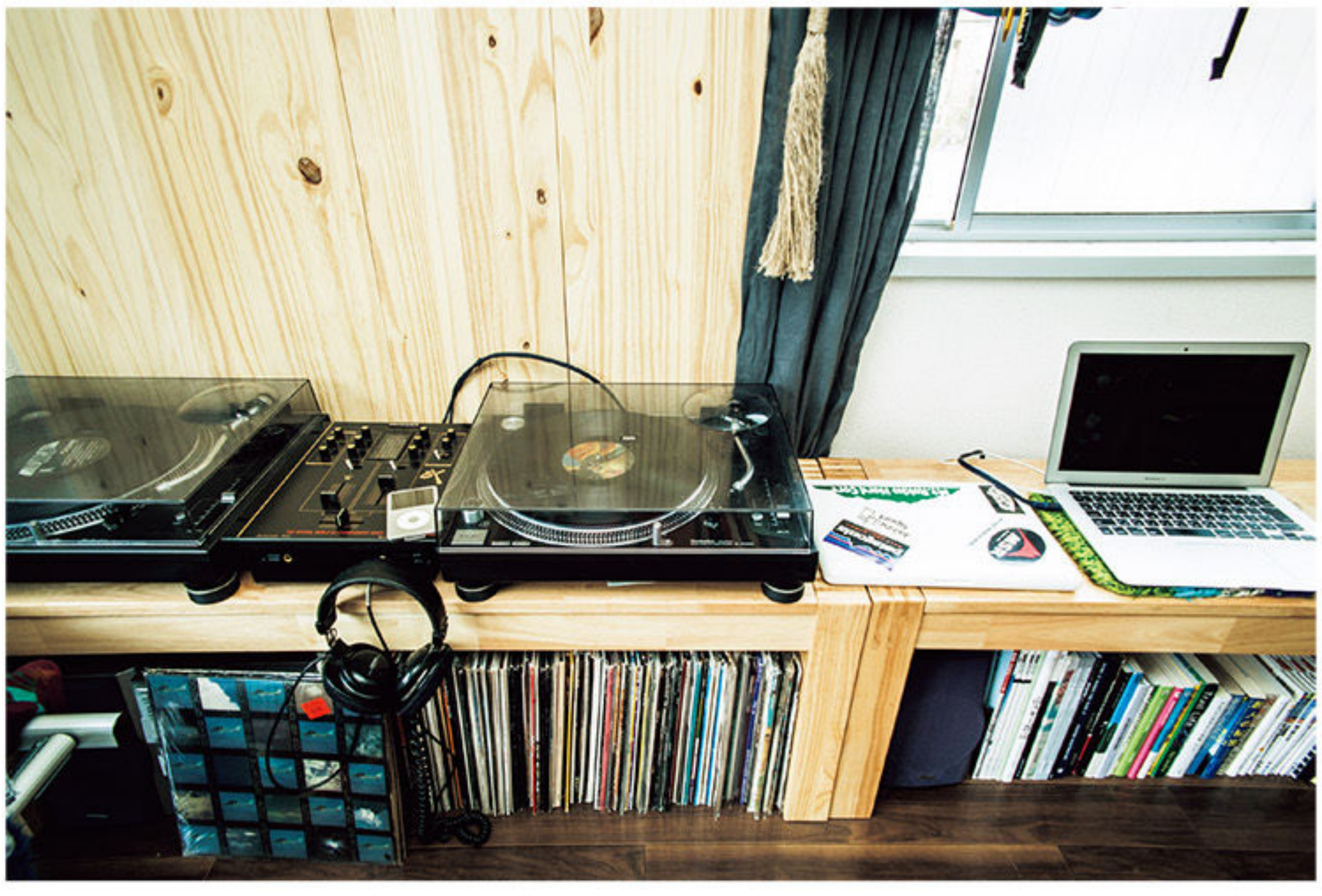
アウトドアアクティビティのギアを効率よく配置し、スッキリとした印象の室内。フローリングに敷かれたラグマットが、ネイティブな雰囲気をさり気なくかもし出している。

1

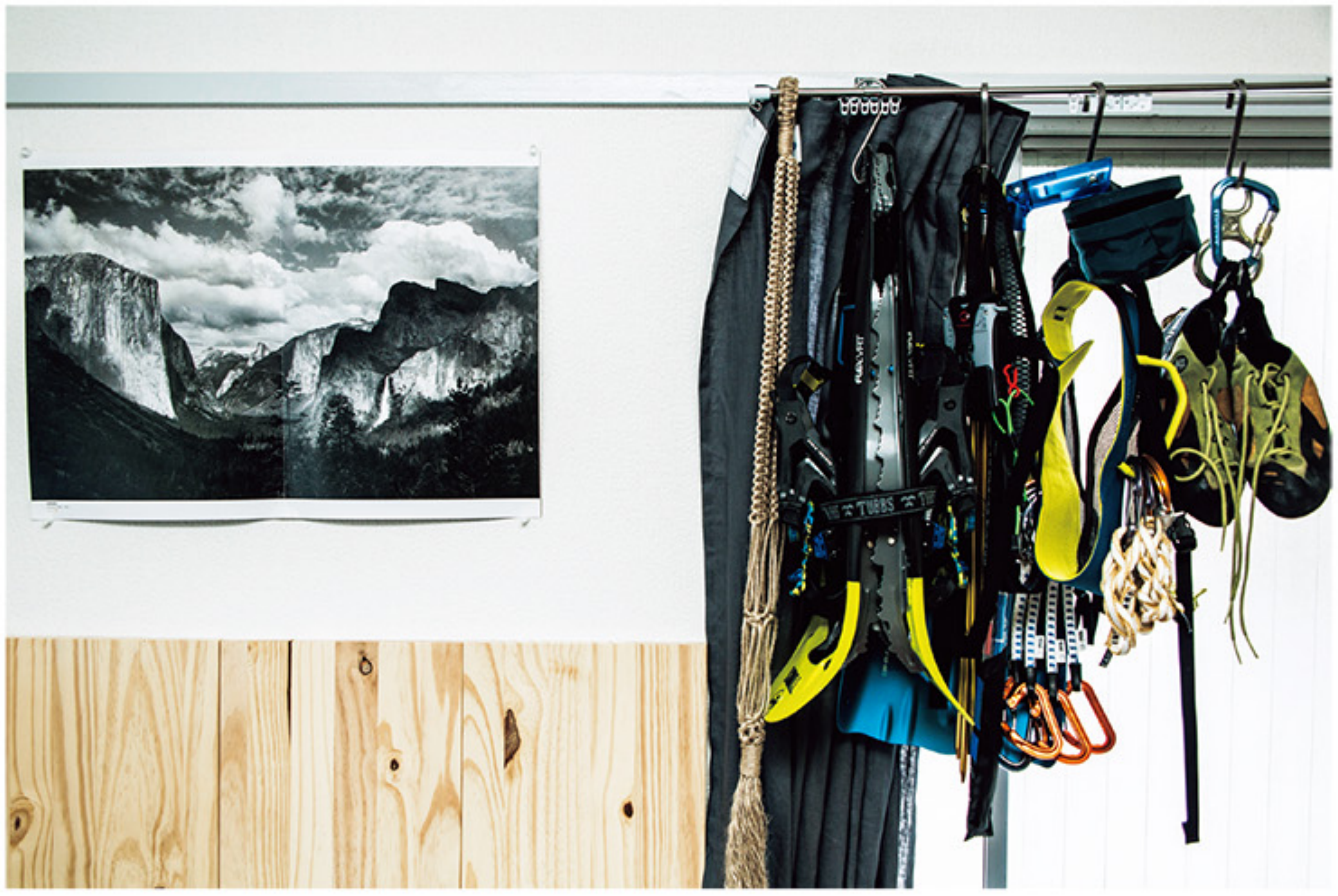
2

1_ リビングのソファーとしてコットを流用し、膝掛けには<パタゴニア>のラグを愛用。神戸の古着屋で偶然見つけた代物で、日本国内では滅多にお目にかかれない激レアだぞう。

2_ レトロな雰囲気あふれるストーブは、アラジン製の石油ストーブ。父親からゆずり受けた年代モノだが、メンテがゆき届いているので、キズや汚れがほとんど見受けられない。



リビングのコーナーに設けられたDJスペース。ファンクジャズ系のレコードやアウトドアの書籍も並べられ、音楽プレーヤーとして機材を愛用している。



雪山登山用のアイゼンやウェイビングベルトといった長さのあるアウトドアギアは、カーテンのレールに「イケア」で購入したＳ字フックで吊って効率よくコンパクトに収納。

1_ ブラック×ブルーのクールなカラーコンビが特徴的な、＜OMM＞のバックパック。中にはシュラフが詰められており、キャンプに行く際、そのまま収納バッグとして持ち歩く。

2_ 服部さんはアウトドアアクティビティのほかにもスケートボードも網羅。足もとは常に＜バンズ＞で、オールドスクールやエラ、スケートハイなどさまざまなモデルを所有している。

1

2

シェラカップやバーナーなどULギアが並べられている棚は、リンゴ用の木箱を棚として流用。ネットで購入し、シューズラックにも活用している。

STYLE.2

工夫して収納してみる。

032ページへ

STYLE.1

そのまま使ってみる。

031ページへ

STYLE.3

飾って置いてみる。

033ページへ

STORAGE AND USE of CAMP GEAR

すぐマネできる、マネしたくなる。

キャンプギア収納&活用法。

楽しかったキャンプが終わり、悩みのタネになるのがギアの収納方法。意外とスペースもとられるし、どこに置いたかわからなくなりがち。
そんな人は必見！　キャンプギアの収納＆活用アイデアを一挙ご紹介。

Photo ／ Hiroyuki Yamada、Chie Kushibiki、Takamasa Sasai、Nobuya Fuke、Hiroya Kizawa
Text ／ Yasufumi Kurayama（RIDE MEDIA&DESIGN）

STYLE.1

そのまま使ってみる。

機能性にすぐれたキャンプギアは、部屋にそのまま持ち込んで使えるものも多い。ちょっとやそっと雑に扱ったぐらいでは、びくともしない耐久性も魅力。

軽量かつ、コンパクトに収納可能な＜ゴーイングファニチャー＞のソファ。汚れたらカバーを取り外して洗えるので野外でもガンガン使っている。（ROOM17 寺田英志さん）

壁伝いに引っかけたハンモック。小物や雑貨の収納にぴったりで必要なものがすぐわかるのも魅力のひとつ。部屋のアクセントにも最適。（ROOM18 千葉一孝さん）

キャンプで使用しているコーヒーセットは、日常使いでも活躍。＜クリーンカンティーン＞のボトルに入れて持ち運んでいるんだとか。（ROOM21 ウラタシュンゴさん）

交差する４本の脚が特徴的なフリップフロップミッドテーブルは、シンプルながらも頑丈な作り。部屋のサイドテーブルにちょうどいいサイズ感。（ROOM09 中村健二さん）

アウトドアをはじめとした、さまざまなシーンで役立つカラビナは、目のつくところに引っかけておくと便利。なくしてしまう心配も少ない。（ROOM10 川村峻介さん）

キャンプで便利なデイジーチェーンはキッチンでも威力を発揮。調理器具などを引っかけておけば、すぐ取り出せる。収納スペースの確保にも◎。（ROOM12 清水慎也さん）

ブルートゥース搭載のコンパクトなスピーカー。キャンプなどの屋外はもちろん、家でもどこでも、好きな場所で大好きな音楽が楽しめる。（ROOM21 ウラタシュンゴさん）

置くだけでサマになる＜マーキュリー＞のキャンバスバスケットは、ゴミ箱を隠すカバーに利用。生活感を抑えつつ、インテリアにも溶け込む。（ROOM01 藤井忍さん）

STYLE.2

工夫して収納してみる。

かさばりがちなキャンプギアは、工夫次第でもっとうまく収納できる。あえて見せたり、隠したり、吊るしたりと、自分なりの方法をいろいろと試してみてみよう。

アウトドアキャップはしまいこむのではなく、シカのオブジェの上に乗せ、ウィットに富んだ見せる収納に。こうすることで型崩れ防止効果も。（ROOM10 川村峻介さん）

収納場所に困るクッカーやホットサンドメーカーはキッチンのフチに引っかけてしまおう。まとめて置くことで統一感が生まれ、すっきりした印象に。（ROOM03 マチカワさん）

ごちゃつくキャンプギアはまとめてしまうと◎。デザイン性の高い、ストレージボックスを２段積みすることで雑多ながらもオシャレに見える。（ROOM10 川村峻介さん）

キャンパーから絶大な支持を受けるククサや使い込まれたホットサンドメーカーは見せて収納。ナチュラル感漂う雑貨と一緒に並べている。（ROOM09 中村健二さん）

タフさが魅力の＜イエティ＞のクーラーはステッカーでカスタマイズ。使っていないときは植物を上部に置いて。アースカラーが部屋にもマッチ。（ROOM10 川村峻介さん）

STYLE.3

飾って置いてみる。

ちょっとの工夫とアイデアで愛用中のアウトドアギアが部屋のオブジェに大変身。お気に入りのギアを飾るだけの手軽さで、もう収納スペースには困らない。

アイアン製のラックに観葉植物などを飾ってアレンジしたコーナースペース。一緒に置いたスキレットやダッチオーブンがいいアクセントに。（ROOM19 和田則久さん）

カーテンレール上部のデッドスペースを上手に活用。デザイン性の高いフリスビーは、飾っておくだけで部屋を明るく楽しい気分にさせてくれるはず。（ROOM04 千葉誠也さん）

使い込まれたランタンの横には、経年変化を感じさせる流木を。外遊びのにおいが伝わるアイテムを一緒に並べるだけで格段に雰囲気がアップする。（ROOM16 角田 崇さん）

壁の空いているスペースを利用したギアコーナー。ランタン型 LED ランプなどをフックで吊るして並べて収納。部屋のアクセントにも一役買っている。（ROOM04 千葉誠也さん）

気に入っている<ファイヤーキング>のマグカップやコップは、観葉植物の鉢としてアレンジ。多肉植物や小さめの植物と絶妙にマッチ。（ROOM10 川村峻介さん）

<SOTO>のミニテーブルの上に<大島園×ロック>の茶缶を三つ並べてスタンバイ。茶目っ気たっぷりなモンスターのグラフィックが目を引く。（ROOM10 川村峻介さん）

<コールマン>のランタンは<カステルメルリーノ>のテーブルに並べて飾る。愛用ギアを上手く組み合わせることで、なんとも愛らしい見せる収納に。（ROOM05 岸本賢悟さん）

<コールマン>のペール缶の上に同ブランドのランタンを置きベッドサイドに。枕元を明るく照らしてくれる、照明を兼ねたサイドテーブルとして活躍中。（ROOM04 千葉誠也さん）

工具が並んだウォールシェルフも木材が置かれた作業デスクも慶太さんの自作だが、材料の多くがリノベーションの際に出た端材を活用しているそう。天井から吊り下げられたデニムは汚れても構わない、D.I.Y. 専用ウエア。

1

2

1_キズやペンキ汚れを大前提に造られたD.I.Y. ルームなら、金具の設置も何のその。天井にフックを打ち、ヒモでワイヤーパネルを吊せば、ちょっとした空間も収納に早変わりだ。

2_かつてはクローゼットだった場所を書斎にリノベーション。ハンティングトロフィーをパロったような演出がニクい鹿のオブジェは、ネットで見付けた木製をペンキでカラーチェンジ。

ROOM 07

OUTDOOR Lover's INTERIOR

会社員
川成慶太さん（32歳）
会社員
川成 瑛梨奈さん（34歳）

間取り
4LDK

ROOM SPEC

エリア：埼玉県さいたま市
居住年数：2年
住宅形態：分譲マンション
築年数：25年
物件紹介：フィールドガレージ
（http://www.fieldgarage.com/）

愛すべきお部屋で木とたわむれる、D.I.Y. というアクティビティ。

「アウトドア好きといっても、最近はたまにキャンプに出かけるくらい？」。顔を見合わせて答えてくれたご夫妻だが、それもそのはず。この居心地があれば、外遊びも遠のくに違いない。約2年前に射止めた新居をリノベーション。リノベを専門とする施工会社『フィールドガレージ』のアドバイスのもと、ご夫妻自らも床や壁の張り替えを手掛けた。

何より特筆すべきはチェスナットやパーケットデザイン、いかにも味のあるリクレイムドウッドなど、お部屋ごとにすべて風合いの異なる床材だ。とりわけリビングダイニングに用いられたチェスナットからは、歩くたびに小気味いい跳ね返りとときしむ音を感じる。それは生活の音であると同時に、お部屋にいながら感じ取ることのできる、木の息づかいのようにも思えてくる。

この小気味よさに加え、瑛梨奈さんは職業柄、インテリアに造詣が深く、家具選びのセンスはお墨付き。居心地のよさにも納得だが、たとえキャンプに出掛ける回数が減ろうとも木との触れ合いを可能としているのがD．I．Y．ルーム。床材にはリクレイムドウッドを選んでいるが、もちろん理由は「作業をすれば汚れて当然。キズもペンキの飛び散りも、気にならない素材にしたくて」。

そもそも慶太さんは、かねてから大の日曜大工好き。リノベの際に剥がした天井はむき出しのまま、コンクリに打たれた穴を埋めなかったのも、いずれハンモックを設置したり、グリーンを吊り下げたり、自作の可能性を狭めたくなかったから。ご夫妻のお部屋は生活の場であるとともに、D．I．Y．というアクティビティを楽しむフィールドでもあるのだ。

＜ウィルキンソン＞のケースをストッカーとして活用。端材でフタをすれば上にも雑誌を積み重ねることができるが、ケースに合わせて端材の角を丸く削っている当たり、さすがはD.I.Y. 好き。

「最近、キャンプはご無沙汰なんです」というご夫妻。しかしOSBボードの壁に引っ掛けられたハットやウィンドブレーカーは＜ザ・ノース・フェイス＞。アウトドア好きの一面が垣間見られる。

リノベーションの妙だけでなく、家具をセレクトするセンスも光る川成家。ソファは大阪の「スイッチ」で、コーヒーテーブル、ダイニングテーブルはともに「アクタス」で購入。

1

複数並べた自作のボックスに、サイズに合わせてオーダーしたクッションをオン。ソファ風に仕上げるアイデアに脱帽だが、ぎっしりと収納された雑誌によって、強度もしっかり。

2

1_ カーペット敷きを剥がしたところ現れた風合いが気に入り、ベッドルームの床はあえて無機質のまま。深みのある木材で自作されたベンチとのアンバランスが、かえってハイセンス。

2_ むき出しの天井に点在する穴は元来、天井を張るためにあけられたもの。ここにフックを設置すれば、この通り。現在はデイジーチェーンを吊し、部屋干し（！）に重宝している。

リノベの際にグリーンに塗ったキッチンの壁。「けれど半年ほど前、ブルーに塗り替えたんです」と瑛梨奈さん。ご自身も壁や床の張り替えを手掛けた経験から、もはやお手のもの。

1_ リノベーション時にキッチンの天井にしつらえた木製ボックス。ちょっとした収納として便利なのはもちろん、現在はドライフラワーのディスプレイスペースとして活躍している。

2_ 日の当たる窓際はグリーンの特等席。昼には葉を広げ、夜になると閉じるエバーフレッシュを始めとしたプランターはもちろん、慶太さん手編みのホルダーで吊すディスプレイも。

D.I.Y. ルームに設けられた憩いのスペース。<ブルーリッジ チェア ワークス>のローテーブルも<コールマン>のチェアも定番の折り畳み式。たまのキャンプには持ち出され、外でも活躍。

ROOM

OUTDOOR Lover's INTERIOR 08

UNIT
店長
橋口漢児さん（42歳）

》間取り
1LDK

ROOM SPEC
エリア：京都府京都市
居住年数：2年
住宅形態：賃貸マンション
築年数：約20年

2

1

1_ キッチンとリビングの間にはエレクターに置いた食器棚があり、そのエレクターに有孔ボードを取り付けて、部屋の仕切りになるようにしている。ディスプレイもでき一石二鳥。

2_ アウトドア時にコーヒーを持っていくことが多いので、そのためのアイテムを多数所有。大きめの＜クリーンカンティーン＞のボトルには、複数分のコーヒーを淹れる。

ソファ前のコーヒーテーブルは、ソファに座りながらご飯が食べれるようにと高さを調整して自作。スチールラックの上に棚板とキャスターを取り付け、掃除や移動も便利に。

好きなアクティビティの道具に囲まれた、完全至福の " 趣味 " 空間。

京都の二条にあるメンズアパレルのセレクトショップ「ユニット」の店長としてセレクトや販売に携わる橋口さん。「男性のファッションは飾りすぎずに、道具としての観点で選ぶのがいいかと思っています」と語るように、シンプルかつ使い勝手のよいアイテムが店頭には並んでいる。モノトーンや無地のものが多く、アーバンなテイストのアイテムが多いが、なかにはアウトドアメーカーの機能的なアイテムも。橋口さん自身も登山やMTBなど、アウトドアカルチャーに深く親しんでいる。

「京都は比叡山や大文字山が身近にあるので、朝に山に行って、その後に仕事するなんてこともあります。琵琶湖も近いので、サイクリングにも最適ですし、自分の仕事とアウトドアをバランスよく楽しんでいます」と、生活の一部としてアウトドアを取り入れている。

橋口さんはアウトドアのほかにも、ギターを弾くのが趣味で、スピーカーやギターといった音楽関連のグッズが部屋にはちらほら。音楽好きが高じて、友人のミュージシャンのイベントを企画することもあるほどだ。

アウトドアと音楽という二つの趣味を大事にする橋口さんの部屋は、あまり作り込みすぎずに、けれどカーテンやテーブルなどは自作するなど、使い勝手や好きなテイストはきちんと押さえたインテリア。長くショップ店員をしていた経験から、ちょっとしたディスプレイのセンスが至るところに光っている。お店のセレクトと同じように、飾りすぎずに無造作な雰囲気が、男らしいインテリアとなっている。

Photo ／ Nobuya Fuke　Text ／ Kumiko Nagaso

寝室は、自転車や洋服をストックしておくスペースに。自転車が好きで複数台所有しており、パーツを購入して自分で組み立てる。MTBで近くの里山にもよく行っているそう。

バッグや服などは備え付けの収納にすべてしまうのではなく、手に取りやすいところに置いている。MTB のフレームやパーツもあえて見せてしまうチョイスを。

2

1

1_リビングとキッチンの間にある趣味のスペースにはギターが並ぶ。手前にある<ギブソン>のギターは、思い切って購入した。毎日ギターに触るようにしている。

2_気が向いたときに鴨川でピクニックすることも。いつでも使いやすいようにと、シュラフやラグは部屋の隅に置いている。カラフルな色合いがアクセントに。

2

1

1_ 赤のストライプのカーテンは自作。ショップでもミシンを使うので縫製もお手の物。ストールやアウターなどそのシーズンでよく手に取るものは、やはり無造作に置いている。

2_ リビングにある小窓のカーテンも自作。フラッグは、友人が手がける神戸のアパレルブランド<マリンデイ>で以前作っていたもの。渋めのカラーで部屋にマッチする。

1

3

2

1_ ソファの前にあるテレビボード周りは、ドライフラワーなどを無造作に置いている。奥にある絵画は、気に入って飾っているというモディリアーニのリトグラフだ。

2_ 橋口さんが登山に愛用するシューズは<シリオ>（上）と<モントレイル>（下）。流行色の強いものよりも、長く愛用できる自分が本当に気に入ったものをチョイスしている。

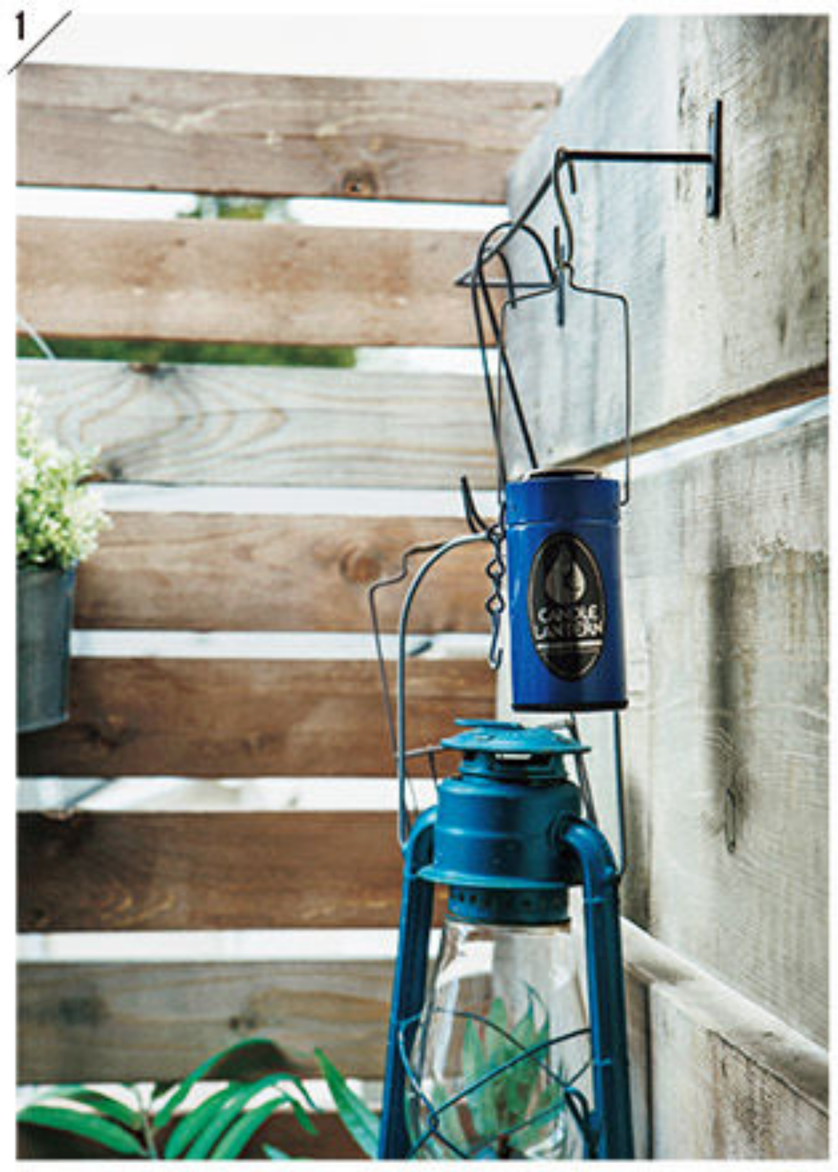
3_ キッチン横にも有孔ボードを置いて、フライパンなどを吊るしてディスプレイ。見た目だけでなく、料理中でも使いたいものをすぐに取ることができるというメリットがある。

部屋のところどころにドライフラワーや植物を飾っているが、すべてもらい物だというのでおどろきだ。キャンドルやアートなど無造作に並べるところが橋口さん流。

ベランダのウッドフェンスは２～３日で作り上げた。天気のいい休日はここでコーヒーを飲んだりしている。木材は水性のニスで塗装し、落ち着いた風合いで統一されていた。

2

1



1_ ベランダに掛けてあるランタンもブルー。中村さんいわく「特に意識しているわけではないんですが、無意識に選んでしまっているので、おそらく好きな色なんでしょうね」。

2_ ご夫婦共に植物が好きなので、思いついたときにドライフラワーや観葉植物を購入している。「観葉植物は枯らしてしまうので、最近はドライフラワーが多いですね」と話す。

ROOM

OUTDOOR Lover's INTERIOR 09

大工
中村健二さん（33歳）

》間取り
2LDK

ROOM SPEC
エリア：宮城県仙台市
居住年数：１年
住宅形態：賃貸マンション
築年数：32 年

大工の本気 D.I.Y. テーマは、「経年変化とアートな平屋」。

まるで庭のように見えるウッドフェンスのテラスを見ると、中村さんのご自宅は一軒家のように見える。しかし、中村さんのご自宅は仙台市青葉区にあるマンションの一室なのだ。「この部屋はもともと大家さんが住んでいたようで、ほかの部屋より少し広めなんです」と話す中村さんの職業は大工さん。もともとは平屋に住みたかったのだが、条件のいい場所が見つからなかったため、仕事の技術を活かして部屋を改装することにした。「マンションなので、現状復帰が前提。そのため、すべてネジを外せばすぐにバラせるように設計しています」。

中村さんは、部屋にある工房で作業をしたり、部屋の改装をしている時間が大好きだ。「キッチンのカウンターのように、何も考えずに作業を始めることも多いんです。作り始めに何を作ろうか考えたり、作っているうちにああしようこうしようと考えている時間が一番楽しいですね」と満面の笑顔で説明してくれた。

奥さまとの結婚生活は１年で、おふたりとも古道具の購入やアート鑑賞が趣味。部屋の中には古道具に混じって、スウェーデンの陶芸家リサ・ラーソンのオブジェや、現代美術家の奈良美智さんのポスターが置かれていている。「美術館には旅行先で行くことが多いですね。妻とはインテリアの趣味が合うんです。自宅にある道具の棚やいすは彼女が持ってきたものも多いんですよ」。

将来的には古民家を中古で買い取り、セルフリノベーションをしてみたいと話す中村さん。これからも楽しい家づくりは続いていくのだろう。

ベランダに続くスペースは日当たりもよく、窓を開くと気持ちいい風が部屋を通る。夫婦ともにお気にいりのこの場所で、食事をしたり、友人を招いたり、ときには仕事も行う。

3

4

3_ ターコイズブルーの内壁とカウンターは中村さんが作ったもので、奥にはパントリーがある。「木の色が増えると部屋の雰囲気が重くなるので、青を挿し色に使っています」。

4_ カウンターに並んだ小物は奥さんのセレクト。ストーブは引っ越し前から使っている。「部屋の雰囲気に合わせて白がいいんですが、愛着があるのでこのまま使っています」。

1

1_ レトロな窓はガラスでなく、ホームセンターで買ったフィルムを貼り付けた。牛のぬいぐるみは大人も座れるオットマン。隣にある茶色い箱は端材で作ったツールボックスだ。

2_ 作業場の机は、フロア材の余りを台に乗せて作った。棚のアクセントになっている柄のパネルは、写真をメディウムで転写して作った。材料費は1枚1000円以内で収まる。

2

4

1

3

2

1_ 鉢植えが置かれたベンチは中村さんの手作り。フォルムが小動物のようで、いまにも歩き出しそうだ。ここにも観葉食物が置かれ、居心地のよさそうな空間を作り出している。

2_ 衣料ボックスになっている木箱は酒屋さんから買ってきたワインの箱。「予約をしないと手に入らないのですが、ひとつ 500 円くらいと安価なので気に入っています」。

3_ アウトドアと登山が趣味の中村さんは、インテリアにもアウトドア用品を使用している。天板を折り畳んで持ち運べる机とその下のラグは、<ワイルドワン>のキャンプ用品。

4_ クローゼットと部屋を隔てるウォールは D.I.Y. で余った端材を利用して作った。表面には金具をつけ、見せる収納に。色も触感も異なる木材がリズミカルで気持ちいい。

1_ 格子状のパーテーションは２×４材を利用し、なんと3時間で組み立てたもの。「カットした木材をビスで打ち込んだだけです。作業に慣れていない人でも作れると思います」。

2_ 「夫婦で家具の趣味がぴったり」と話すように、どちらかが古道具屋で気に入ったものを見つけては家に招き入れている。写真に写る家具は結婚前から奥さんが集めていたもの。

2

1

ROOM

OUTDOOR Lover's INTERIOR 10

》間取り
1LDK

ROOM SPEC
エリア：宮城県仙台市
居住年数：2ヵ月
住宅形態：マンション
築年数：8年

**インドア＆アウトドア雑貨店
ENStyle 代表
川村峻介さん（32歳）**

部屋の入り口に設けられた収納には、アウトドアグッズが山盛り。黒いバックパックは登山をはじめてから使い始めたもので、25ヵ所以上の山を共に登った思い入れのある品。

Living with a green.

川村さんはお店で植物を販売していて、ガステリアという多肉食物がお気に入り。ぬいぐるみに見えるピロークッションはイラストレーターユニット<ロック>がデザインしたもの。

「インテリアに使えるアウトドア用品店」店主の、D.I.Y. ライフ。

仙台市青葉区で「インドアでも使えるアウトドア用品」をコンセプトにした店「ENStyle（エンスタイル）」を営む川村峻介さん。店は、震災時に経験した共同生活で聞いた「日常にアウトドア道具があれば震災のときも便利だったよね」という声を参考に立ち上げたそうだ。

川村さんの趣味は登山で、同じ山を何度も登り、四季の変化を楽しんでいる。自宅マンションの中でも、ガスバーナーやキャンプ用品など、外遊び用の道具を使いながら生活している。「登山を始めたのは店のためなんです。アウトドアギアを扱っているのに、その世界を知らないと説得力がないですから。家の中でアウトドアギアを使うのも、店のコンセプトを実践してお客様に伝えるためです」。川村さんは、家はお店の延長で、相互に繋がっているものだと話す。部屋はその人の心を表すと言うが、お店は単なる仕事ではなく、川村さんのライフワークであり、趣味の一部なのだろう。

そして、もうひとつの趣味は高校卒業と同時に始めたD.I.Y.だ。自作のユニットデスクや、りんごの木箱を利用した棚など、部屋の中には随所に手作りの家具が見られた。仕事の中でもその経験は役立っていて、店舗をリノベーションしたり、知人から内装の仕事を請け負うこともあるほど。インテリアは、北欧、アートなど、川村さんがそのときに気になっているものを取り入れている。仕事も趣味も、いま生きている時間を丸ごと詰め込んだ部屋は今後どのように変化していくのだろうか。

2

1

1_ 迷彩柄の<ヘリノックス>のタクティカルチェアは、バックパックに入るくらいの大きさになるのが特徴。白樺模様のビーズクッションは、同じ柄のスツールも部屋に置いている。

2_ <イエティ>のクーラーボックス表面を彩るステッカーは、キャンパーの方が作っているキャンプステッカーをいただいたり、野外フェスで配られていたものなどを貼り付けている。

エプロンをつける仕事を続けてきた川村さんは、家やお店でもエプロン姿で過ごしている。
カーテンは＜ホームズアンダーウェア＞で買った布に手を加えてレールに通したもの。

キャンドルは、LEDの灯りがゆらめく電池式のもの。火を使わないので子どもがいても安心。奥に見えるのは妹さんの友人の撮った写真で、気に入って譲ってもらった。

1

2

1_ 棚に使っている木箱は、青森のリンゴの箱をインターネットで購入したもので、ひとつ1000円。「サイズが統一されているのでレイアウトを変えても合わせやすいんです」。

2_ 大阪のメーカー＜ニュートラルアウトドア＞のアウトドアテーブルは、天板が竹でできている。手触りがよく、重量も約5kgと軽いので、室内外に持ち運んで使っているそうだ。

3

1

2

1_ コーヒーグッズは近所の河川敷や海で活躍している。手前の銀色の筒はコーヒーミルで、右手に見える金色のマッコリカップに入ったエアロプレスにぴったり収まるサイズ感。

2_ スタッキングできる木製の枡と四角いおちょこは、知り合いの木工職人に作ってもらった試作品。現在は川村さんしか持っていない、世界でひとつのオリジナルアイテムだ。

3_ 金色のマッコリカップはアルマイト製。ある程度丈夫で価格も安く、火にもかけられるので、キャンプで活躍している。木の器は宮城県の木材を使ったケリーボック製。

D.I.Y. 歴 10 年以上の川村さんは「作れるものは作る」スタンス。棚と机は木材から3時間で自作した。いすは北欧のデザイナー、アルネ・ヤコブセンのアントチェア。

愛犬との心地いい生活を追求した部屋作り。

神奈川県は鎌倉駅近くに佇む、こだわりのある大人のカジュアルスタイルを提案するメンズセレクトショップ、「バードマウンテン」の代表を務める鳥山さん。彼は大の愛犬家で、愛犬であるトモヨちゃん（9歳）と心地よくふれ合えるための家作りを心掛けている。

ご家族は奥様と中学1年になる息子さん、そしてトモヨちゃんの4人暮らし。約3年前にトモヨちゃんの里親となるべくして、ペット可の物件だったというこちらの戸建てに引っ越して来た。

建物は築30年の木造、床は畳で仕切りがふすまという、純和風の一戸建て。それを押し入れスペースのふすまを取り払ってテレビ台へと流用したり、床にはお気に入りのラグを敷いたりと、奥様が中心になって鳥山さん家族にとって心地いい空間へと少しずつアレンジして行った。縁側部分は板を延長してベランダへとリフォームし、さらに庭の一番奥にはトモヨちゃん専用の居場所を設け、そこにはベッドもしっかりと敷いてある。天気のいい日にはそこで気持ちよさそうにお昼寝しているそう。

「アンティーク系のテーブルや棚といった家具はほとんど家内が見つけて購入したものです。それに対してスヌーピーの置物やポスターといった雑貨は僕が用意しました」。

そして印象的だったのが、玄関にたくさん置かれた＜バンズ＞のスニーカー。この家に引っ越して来たのを機にサーフィンをはじめた鳥山さんは、一緒に＜バンズ＞にも心酔中。まさに家もライフスタイルもともに和洋折衷。それは湘南の雰囲気そのものと一体といっても過言じゃないだろう。

築30年の和室にモダンなアンティークファニチャーとポップな雑貨で洋風にアレンジ。経年変化の味わい深い木の質感を残しつつ、現代生活にふさわしい空間となっている。

1

2

1_押し入れに付けられたふすまを取り外し、テレビ台へと流用。さらに最上段にはスヌーピーやマシュマロマンといったアメリカンキャラクターが飾られており、ポップな雰囲気に。

2_日本製の白物家電群の中にポツンと置かれた、＜ヨークシャー メイソンジャー＞のドリンクディスペンサー。リビングと同様にアイテム同士の組み合わせの妙を感じさせる。

ROOM

OUTDOOR
Lover's
INTERIOR

11

間取り
3LDK

ROOM SPEC
エリア：神奈川県茅ヶ崎市
居住年数：3年
住宅形態：分譲戸建て
築年数：30年

Bird Moutain
オーナー
鳥山 学さん（44歳）

Photo ／ Hiroyuki Yamada　Text ／ Arata Homma

玄関スペースに置かれたボードチェアはドメスティックブランド、< TK ガーメント>の代物。ユーズドのスケートボードのデッキに<ラルフローレン>のファブリックが貼られている。

リビング脇に設けられたウッド製のベランダ。＜スノーピーク＞の BBQ グリルを常設し、ホットサンドを焼いて、外でコーヒーを飲むのが心地いい。日よけのすだれも自身で付けた。

1_ 庭の一番奥に設けられたトモヨちゃん専用のドッグベッド。敷かれているマットは＜L.L. ビーン＞のもので、真上から見ると名前の刺しゅうが施されているのがかわいらしい。

2_ 玄関のシューズラックには＜バンズ＞がギッシリ。3 年前にサーフィンをはじめとことをきっかけにハマり、今ではスニーカーは＜バンズ＞オンリーに。花井祐介コラボも網羅。

3_ リビングの隣にあるキッチンスペース。テーブルや棚は奥様がキッチンの雰囲気に合わせて買いそろえたアンティーク品。テーブルにある鉄器は岩手の南部鉄器、＜及源＞。

1

3

2

壁に飾られたドライフラワーはすべて奥様の手作り。友人宅からもらったミモザをメインにして、野趣あふれる香りをほのかに放ち、思わずやすらぐような懐かしい気分へと誘う。

1

2

1_ 玄関にかけられたアウターの上には、「キース・ヘリング」のポップアートが貼られている。純和風の作りの玄関と、アメリカンポップアートとのコントラストが絶妙だ。

2_ ソファの膝掛けに使用しているのは、＜ペンドルトン＞のビーバーステート大判ブランケット。ブラウンを主体にしたカラーリングで、リビングのインテリアに調和している。

アンティークチェアの横に置かれたのは、＜メイドバイセブン＞のスピーカー。経年変化で味わい深い木の質感がマッチして、見ているだけでどことなくホッとした気分に。

OUTDOOR Lover's Kitchen

おいしい料理は、こだわりの空間から生まれる。

アウトドア好きの、部屋とキッチン。

キャンプギアを家でも使ったり、D.I.Y. で理想にピタリとハマる逸品を生み出したり……。そんなアウトドア好きたちの極上キッチンを大公開。
使い勝手がよく、テンションも上がるから、これなら絶対に旨いメシが作れそう！

Photo ／ Takamasa Sasai (01,02,03,05)、Hiroyuki Yamada (04)、Chie Kushibiki (07)、Syahoojin (08)　Text ／ Akihiro Tajima

D.I.Y. で実現した、アンティーク調のウッドカウンター。

鉄製のミニフライパン＝スキレットは、「ニトリ」で家族 5 人分を購入。トーストや目玉焼きのプレートを作る。飯ごうにはライターなど小物を収納。ジャーは<ル・パルフェ>のもの。

キッチン側から見た収納棚。砂糖などを入れた空き瓶は、フタだけを棚の天板にビス留めし、片手で開けられるようになっている。雑貨は安く購入してリメイクすることが多い。

「もともとは何もなかった」というスペースに、ホームセンターで買った木材でカウンターを設置し、収納を増やすべく棚も左右に取り付けた力作。木材にブライワックスを塗りヴィンテージ風にしたことで、味のある質感で統一された無二のキッチン空間となった。後付したステンレスパイプも、使い勝手のよさを高めている。

神奈川県
横浜市

ROOM SPEC
間取り：2LDK
居住年数：1 年 5 ヵ月
住宅形態：賃貸マンション
築年数：48 年

OUTDOOR LOVER'S KITCHEN
PICK UP 01

主婦
大塚沙代さん（34歳）

キャンプ場に " そのまま繋がる " キッチン。

「オイルは特にダメになりやすいので、自宅用をそのままキャンプに持って行きます」。瓶や口の金具は「アマゾン」で購入。「セリア」で買った黒板シートを切って貼り、文字を書いた。

D.I.Y. の端材を使い、コーヒーギアを収めるラックを作成。ビン類は雑貨屋や「無印良品」で購入。エッジーなデザインが目をひく左上のゴールドのミルは<ザッセンハウス>のハバナ。

キャンプに足繁く通うようになり、準備や片付けが楽になるのではと家のキッチンにもキャンプギアを導入。その代表例が、<テンマクデザイン>のワーカーズオカモチ。家の調味料入れとして使いつつ、キャンプのときはオカモチごと持っていく。これなら調味料も余りにくい。左上の木のまな板類もバスケットごと持参している。

OUTDOOR LOVER'S KITCHEN

東京都
板橋区

ROOM SPEC
間取り：2LDK
居住年数：8 年 1ヵ月
住宅形態：賃貸マンション
築年数：10 年

PICK UP 02

デジタルコンテンツディレクター
寺田鉄生さん（48歳）

"古い"と"ゆったり"が合わさった心地よい空間。

「年々、古いものへの愛着が増しています」と言う池田さん。築50年の部屋には味わい深いインテリアが並ぶが、キッチンは2～3畳の広さがあり、物量も少なめ。このほどよいゆったり感が、絶妙に心地よい空間を生んでいる。入り口には蚤の市で買ったガーラントを配置。冷蔵庫はステッカーを貼って旅行トランク風の面持ちに。

調理器具が吊るされた窓際にもひと工夫が。「突っ張り棒だと重さに耐え切れず落ちてしまうので、窓枠にネジを打ち込み、その上にホームセンターで買った木の棒を置いています」。

「ウニコ」で購入したシェルフに、古道具屋やリサイクルショップで集めた食器類が並ぶ。最上段の蚤の市で買った木箱にはコーヒーギアが入る。蚤の市には日程が合う限り足繁く通う。

OUTDOOR LOVER'S KITCHEN

PICK UP 03

東京都
目黒区

ROOM SPEC
間取り：1LDK
居住年数：3年6ヵ月
住宅形態：賃貸マンション
築年数：約50年

unico 新宿
店長
池田亮二さん（35歳）

レアかつ機能的なキャンプギアを、日常でも愛用。

相当数あるクージーコレクションの一部。＜マウンテンリサーチ＞や＜ハーフトラックプロダクツ＞が多い。青の一品は今はなき＜ゴッサマーギア＞のシルクナイロン生地のもの。

＜GSI＞のドリンクボトルはUS限定カラー。左がサイケ、右がトリコロールの名を持つ。オーナーみずから買い付けに出かけレアなものも多い平塚「マームーズ」で購入。

ステンレスで統一された様が実にかっこいい町川さんのキッチン。ただスタイリッシュなだけでなく、レアなシェラカップや＜マウンテンリサーチ＞のアナルコカップといったキャンプギアが並ぶところも心憎い。「キャンプでは機能的なものばかり使うし、友人からのもらいものやワンオフものが多いので家でも日常的に愛用しています」。

OUTDOOR LOVER'S KITCHEN

PICK UP 04

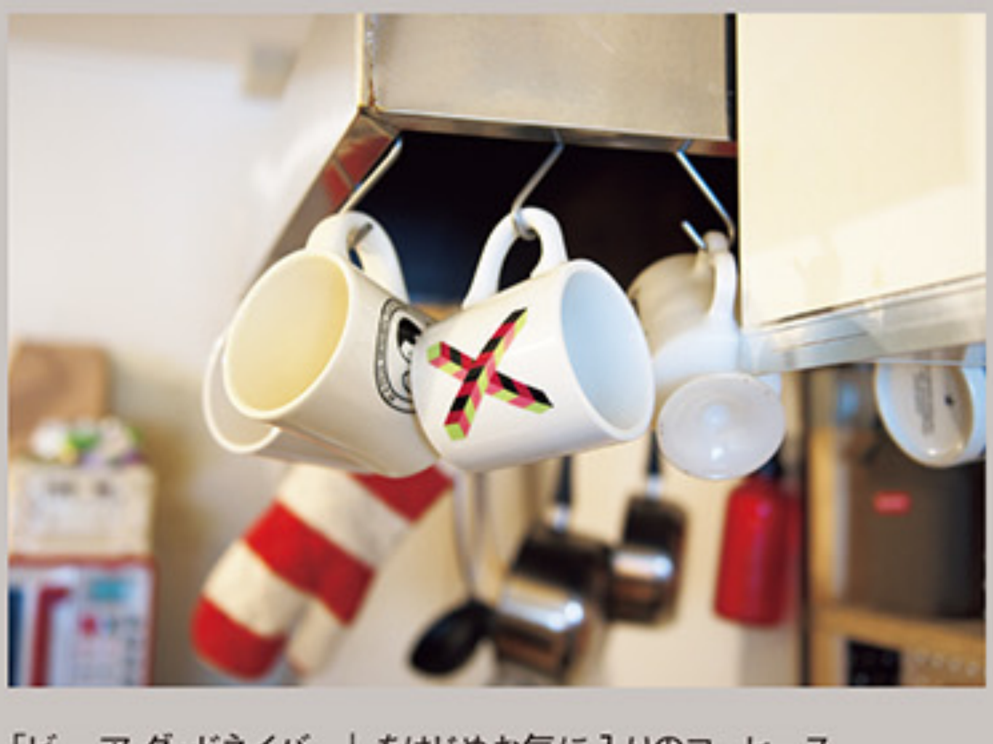
神奈川県
平塚市

ROOM SPEC
間取り：3LDK
居住年数：5年8ヵ月
住宅形態：戸建て（持ち家）
築年数：約6年

newlanders
newlanders町川一仁さん（39歳）

思い切りのいいD.I.Y.と、グッドバイブスな小物たち。

コーヒードリッパーのスタンドは、余ったOSB板と2×4材の端材を組み合わせて箱状にし、取付け用のL字金具を交互に付けただけで完成。棚の雰囲気によく合い気に入っている。



「ビー ア グッドネイバー」をはじめお気に入りのコーヒースタンドのマグ類は、換気口の縁にS字フックで吊るしている。よく使うカップは、こうしてサッと取り出せるように工夫。

雰囲気のいいキッチン棚は、実は窓に自作で設置したもの。「自然光が入らない窓なので、つぶしてしまいました」。ホームセンターで2×4材を買い、ピーラーブラケットで柱を立てた。背面には有孔ボードを、棚板にはシナ合板を使用。横乗り系ブランドの小物がよくなじんでいるのも、後藤さんのこの自由な発想があるからこそ。

OUTDOOR LOVER'S KITCHEN

PICK UP 05

東京都目黒区

ROOM SPEC
間取り：1LDK
居住年数：2年
住宅形態：賃貸マンション
築年数：約30～40年

フォトグラファー
後藤祐樹さん（29歳）

圧巻のD.I.Y. スキルで生み出された、ジャストな棚たち。

高校卒業と同時に大工職に就いた中村さん。日曜大工が趣味で家具はほとんど買ったことがないというだけに、家には圧巻の D.I.Y. 家具がそこかしこに。上のキッチン棚は 2×4 材を 2 つ並べて柱にし、奥の面には 1×4 材を、棚版の部分には 2×4 材を使用。食器類が落ちないように、表面に 1×4 材を取り付けて手前を少し高くしている。

キッチンと冷蔵庫のわずかな隙間には、引き出し棚を自作。メインは 12mm の合板で、棚部分は 2×4 材を使用。底に車輪を付けスムーズに出し入れできるようになっている。スゴ過ぎです！

OPEN

雑貨屋などで売っているワイン箱に 2×4 材の端材を四隅に取り付け、等間隔で 3 段の棚にした食材ラック。一番下の箱の底にはキャスターが付いていて、ワゴン仕様になっている。

OUTDOOR LOVER'S KITCHEN

PICK UP 06

宮城県
仙台市

ROOM SPEC
間取り：2LDK
居住年数：1 年 6 ヵ月
住宅形態：賃貸マンション
築年数：約 33 年

会社員
中村健二さん（33歳）

見せる収納は、形をそろえればこんなに気持ちいい。

ここより約 2.5 倍広い家から引っ越して来たため、ものがしまいきれない。それならということで、ものをインテリア化するべく " 出して見せる収納 " に。職業がら食材や調味料が特に多いが、形状をそろえて置くことで、美しく気持ちのいい見た目に。上の乾物を入れた大きなビンは、なんとすべて＜マイユ＞の粒マスタードの空き瓶。

「どうせよく使うのだから、出しておいた方が効率がいい」と、頻繁に使う道具類は吊り下げて収納する。天井にタオルハンガーを取り付け、S字フックと組み合わせている。

キッチン前にウッドカウンターを設置し、バー風に仕上げた。調味料やスパイスがズラリと並ぶ様は、本格レストラン顔負け。ここでも容れ物の形状が極力そろえられている。

千葉県
松戸市

ROOM SPEC
間取り：1LDK
居住年数：3 年
住宅形態：賃貸マンション
築年数：40 年

OUTDOOR LOVER'S
KITCHEN

PICK UP 07

飲食コンサルタント
古平賢志さん（35歳）

山の別荘でイチから自作した、美しき壁面収納。

酒屋でもらったワイン箱に合わせ、シェルフを自作。柱が棚板をはめ込める仕様になっているため、柱と板を買えば棚が完成する。取っ手は古道具屋や100均で買ったものを取り付け。

近所にある「ズクショップ」で買ったスイス軍のミートボックスには保存食や食器類が。「合理的で使いやすい」と軍ものを多用。横の給食用トレーは大人数で食事するときに便利。

2013 年にアルプスの麓の元研修施設を買い取り、すべてをイチから D.I.Y. した "山の別荘"。キッチンは、有孔ボードを使った壁面収納が圧巻。換気扇やコンセントの孔をくり抜いた後、ブラックで塗装した力作だ。道具類を "俯瞰" でき、また大きさや形状を絶妙に組み合わせた "パズル感" も美しい。右窓際のカップ類を吊り下げた棚も自作。

OUTDOOR LOVER'S KITCHEN

PICK UP 08

長野県
駒ヶ根市

ROOM SPEC
間取り：5LDK+会議室
居住年数：3 年
住宅形態：戸建て（持ち家）
築年数：25 年

カメラマン
写風人さん（60歳）

テラスにはアウトドアチェアが置かれている。テラスに面した庭は10畳ほどあり、友人を招いてBBQをしたり、仕事終わりにビールを飲んだりと、憩いの場になっている。

1_清水さんのお子さんは、上は小学5年生、下は1歳の遊び盛り。テラスは子どもたちもお気に入りで、昼寝をして過ごすことが多い。撮影で伺った際も家中に元気な声が響いていた。

2_2畳ほどある小さなガレージに吊り下げられているのは、ご自身で組んだBMX。すべてパーツから組み立てたもので、技術は学生時代に働いていた自転車屋で身につけた。

家中に広がるアウトドアギアは、親子代々のキャンプ好きの証。

マウンテンアパレルブランドの営業職をされている清水さんは、ご両親の影響でアウトドアに親しむようになり、そのキャリアはなんと20年。今でも連休があると家族でキャンプに出かけて、BBQで手料理を振る舞うそうだ。

築5年のご自宅の周りは梨畑が広がるのどかな土地で、家族は娘3人に息子ひとりと奥さま。仕事もプライベートもキャンプやアウトドアが身近な清水さんは、アウトドアギアを数多く所有しているため、家の中でも活用している。「この家は子どもが自由に過ごせるよう設計してもらったんです。落書をしたり、穴を空けてもいいように、内壁にはOSB材を選んでいます」。外で遊ぶように家の中でも遊べる家族6人の暮らしは、にぎやかに続いていく。

ROOM 12

OUTDOOR Lover's INTERIOR

営業課長
清水慎也さん(35歳)

》間取り
5LDK

ROOM SPEC
エリア:千葉県市川市
居住年数:5年
住宅形態:一軒家(持ち家)
築年数:5年

Photo ／ Chie Kushibiki Text ／ Gaku Suzuki

3

1

2

3_ 大きなロゴが入ったアメリカンブランド、<マーキュリー>のグッズは清水さんのお気に入り。「外で使うことも多いので、小さく折り畳めて重宝しています」と清水さん。

2_ 家具は求めやすくデザイン性も高いことから<イケア>で統一。清水さんは学生時代からシンプルな家具が好みで、奥さんも家具のチョイスは清水さんに任せている。

1_OSB材の棚に置かれた銀色の筒は<イエティ>のビアクーラーで、アメリカ出張時に買ってきたもの。「ぬるくならないんです!」と、ビール好きの清水さんは手放せないそうだ。

2

1

1_ お気に入り<イエティ>のクーラーバッグは、半年前に購入したもの。「弁当を入れて仕事先にも持って行くんです」。もちろん、趣味のキャンプやBBQでも大活躍の一品。

2_「連休があると一家全員でキャンプに行くので、道具は車に積みっぱなしです」。車にはテントや寝袋などが満載。最近では子どもたちもテントの設営を手伝ってくれるように。

SIDE

FRONT

愛車は< GMC >のフルサイズスポーツ車、デナリ。アメリカ車らしい広い車内とパワフルな駆動がキャンプでいきる。後部にはキャリアを増設し、クーラーボックスを搭載している。

ROOM

OUTDOOR Lover's INTERIOR 13

》間取り
1LDK

ROOM SPEC
エリア：東京都目黒区
居住年数：２年
住宅形態：賃貸マンション
築年数：30 ～ 40 年
物件紹介：RoomClip
（http://roomclip.jp/）

フォトグラファー
後藤祐樹さん（29 歳）
RoomClip 名：yu_ki

1_何の変哲もない脚立だが、落書き的に貼られたステッカーに家主のバックボーンがにじむ。なかには後藤さんが仲間たちと 2015 年に立ち上げたブランド＜ scrapbooks ＞の１枚も。

2_「まだまだ初心者」というサーフィン。すぐ持ち出せるよう冷蔵庫脇のデッドスペースに鎮座する＜セル＞のボードは、波乗りへの興味をかき立ててくれた先輩から譲り受けた。

OSB ボードを用いた収納兼キャスターテーブルは後藤さんの自作。お部屋の印象を左右するラグには「B カンパニー」で 5000 円ほどだったという＜ペンドルトン＞風の１枚をセレクト。

暮らしの場に散りばめられた、エッセンスとしての外遊び的アイテム。

＜ザ・ノース・フェイス＞に＜バートン＞、＜バンズ＞や＜ノーレッジ＞に、今では入手困難となった＜ナイトレイド＞……。ステッカーやマグカップ、アパレルアイテムの空き箱など、後藤さんのお部屋に散りばめられたロゴたちの多くが、外遊び好きにはおなじみのブランドメイド。

多彩なロゴがお部屋にアクセントを添えているが、後藤さんの趣味を浮き彫りにするファクターでもある。おわかりの通り、後藤さんはキャンプ好きであり、スケボーやフリスビーを始めとしたストリート好きだ。

さらに「ホームセンターで購入したベニヤと2×４材、それにビスを使って、簡単なものならD．I．Y．してしまいます」と話す、日曜大工好きの一面もある。既製品と見紛うほど完成度の高いパソコンデスクもその一例というから、腕前も確か。

しかし、いかにもアウトドア好き風のお部屋には仕上げないのが彼のセンス。「どこかのタイミングでリフォームしているとは思いますが」という築30年余りの物件がかもし出す柔和な白壁の印象も手伝って、ナチュラルな雰囲気さえ漂っている。「アウトドアも好きだけれど、お部屋はあくまで暮らしの場」。住まいを目黒に選んだのも、けっしておしゃれなイメージを選択したのではない。かつて通った学校が目黒にあり、当時の仲間たちも多く住まう目黒エリアは、まさになじみの街。暮らしやすさを第一に考えてのことだ。

それでもお部屋に確かににじみ出る、アウトドア好きの表情。ステッカーを始めとしたロゴ小物を散りばめるだけで、自身が愛するアクティビティやカルチャーと住み心地のよさが、違和感なく同居を始める。

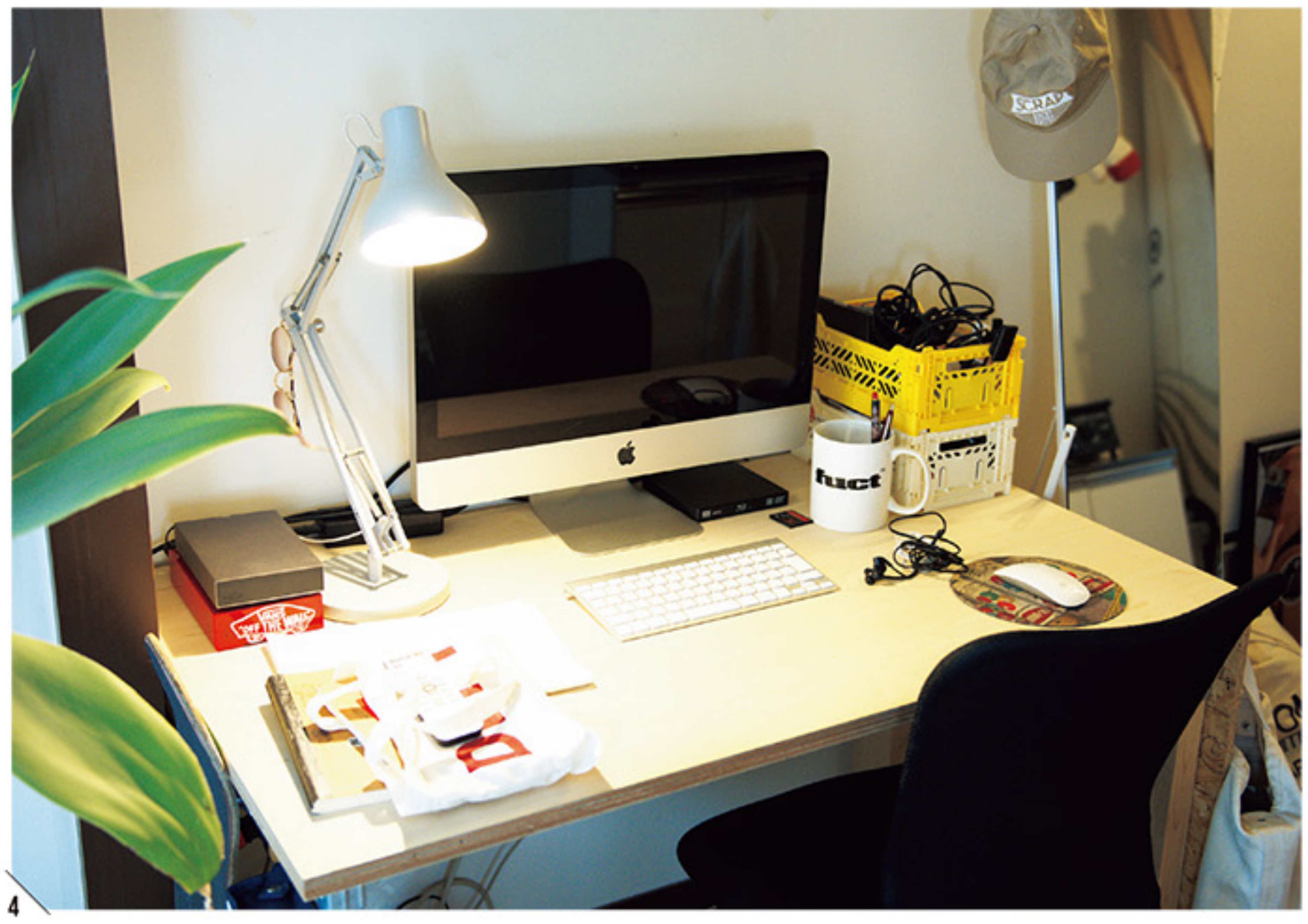
ベッド脇のサイドテーブルとして使用しているのは、軍モノの折り畳みチェア。あえて強くは主張させず、散りばめるようにレイアウトされた外遊び的アイテムが居住空間にとけ込み、まとまりあるお部屋に仕上がっている。

1_ 有孔ボードを活用したラックはお部屋のパーティーションとしても一役。2×4材の柱にステンレス製の突っ張り棒を噛ませれば、「自作でもそこそこ強度のあるものが作れます」。

2_ ちょっとしたきしみはご愛敬として「そこそこの強度」という家主の言葉通り、CDコンポも置ける仕上がり。D.I.Y.の材料はホームセンターで買い求め、製作費は2万円弱だそう。

2

1



4

3

3_ 後藤さんのお部屋にはグリーンも欠かせない。自由が丘の「モモ ナチュラル」で購入したプランターに植えられたアガベは暑さにも寒さにも強く、グリーン初心者にもオススメ。

4_ 作業のしやすさを最優先に求め、パソコンデスクもD.I.Y.。＜ファクト＞のマグカップや、さりげなく置かれた＜バンズ＞のボックスからも、やはり家主の趣味が見え隠れする。

おなじみ＜ザ・ノース・フェイス＞の飯ごうをプランター代わりにしたアガベなど、手頃なサイズのグリーンは、ブルーのペンキで鮮やかに塗装した自作ベンチと「イケア」で5000 円ほどだったというキャスターラックにディスプレイ。

3

1_ 玄関にあるシューズキャビネットの上にも有孔ボードを活用し、カレンダーやカギをオン。"ROOTS" と並んだラスタカラーの木製アルファベットは、友人からの贈り物だそうだ。

2_ 日常的に使用するニット帽やバンダナは取り出しやすく、＜ダンスミュージックレコード＞の CD コンテナへ。動線を考え、隣にはヘアセットのスタイリング剤などをレイアウト。

3_ 自作ラックの裏側には CD ホルダーを吊り下げているが、目に付くのが＜ P.F.S. ＞のステッカーだ。有孔ボードに設置するフックを始め、D.I.Y. のパーツを探す場として欠かせない。

1

2

手前の革のチェアーはボーエ・モーエンセンがデザインしたスパニッシュチェアー。以前勤務していたお店で展示されていたものを購入したので思い出も深い品だ。

3

1

2

1_ キッチン脇にあるダイニングテーブルの上には、鉢植えの多肉植物などを並べた小さなジャングル。リビングとの仕切りには、お手製のドライフラワーリースを吊るしている。

2_ キャンプやフェスも好きなので、キッチンにはキャンプの定番である＜バウルー＞のホットサンドイッチメーカーが。料理は好きで、アジア料理などを仲間に振る舞うことも多い。

3_ テレビボードや飾り付けた棚も北欧のヴィンテージ。照明やチェアーも北欧モノが多いので、統一感のある空間ができあがる。左側にある白い折り畳みのいすも北欧のもの。

ROOM 14

OUTDOOR Lover's INTERIOR

花屋
俵山直人さん（30歳）

間取り
2DK

ROOM SPEC
エリア：東京都世田谷区
居住年数：1 年
住宅形態：賃貸マンション
築年数：35 年

名作家具を日常使いし、植物でニュアンスを添えて。

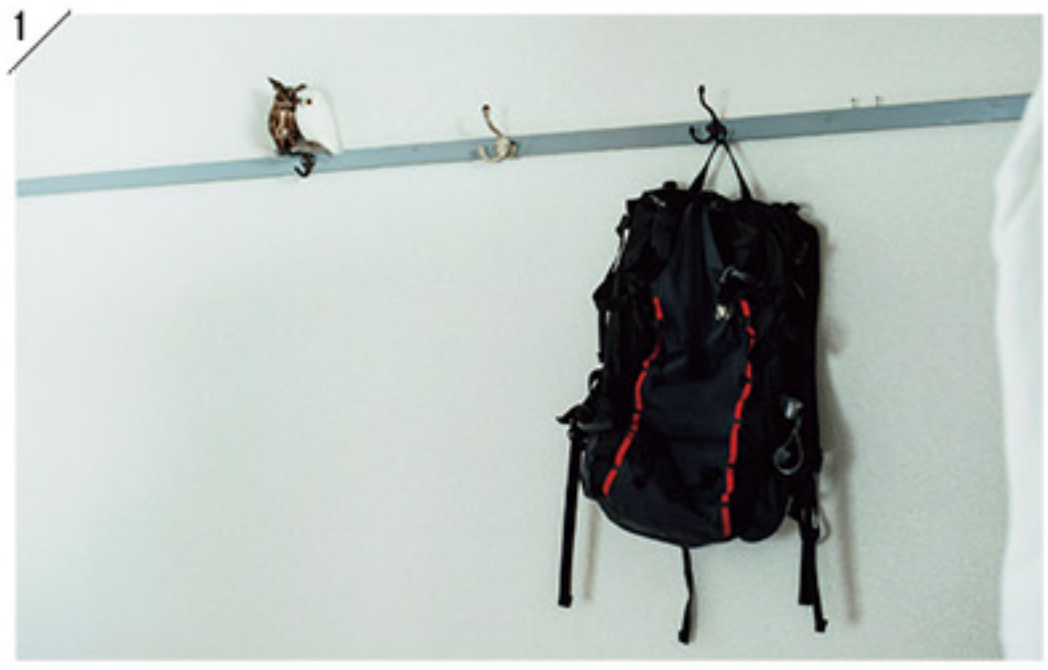
都内のインテリアショップに長年勤務していた俵山さんの部屋には、貴重な北欧家具が並ぶ。現在は、フラワーアレンジメントを中心に行うフラワーショップで勤務していることもあって、名作家具と植物が織りなす、温かみのある空間だ。

「ずっと使い続けられるような家具が好きなので、長いこと同じデザインで作られている家具やヴィンテージの家具を選ぶことが多いです」と、語ってくれた。

ひとりで山登りするのが好きだという俵山さんは、アウトドア用の折り畳みチェアも複数所有しており、ホームパーティーをする際たくさんいすを並べるそう。アウトドアアイテムは、普段使わないときは折り畳んで収納できるものも多いので、部屋を広く使うのにもってこいだ。

寝室にあるシェルフもボーエ・モーエンセンがデザインしたもの。本など隙間なくきっちり並べる部分と、間をとって雑貨を並べたりと、ショップのようなディスプレイに。

1



2

1_ ベッドリネンも壁とともに白で統一して、清潔感のある印象を保っている。左上にあるバックパックは＜ミレー＞のもので、日帰り登山に最適な30ℓほどのサイズを愛用。

2_ 玄関脇にある木製の靴箱は、古い日本のアンティークのもので、もともと靴箱として使われていたもの。木製の家具が多いので、日本のものでも木製の家具はすんなりとなじむ。

1

2

1_ ドライフラワーやリースを並べた雰囲気のあるディスプレイコーナー。モノはたくさんあるのだが、全体的に色味を抑えているのでごちゃごちゃせずスッキリとした印象に。

2_ 賃貸なので壁に直接ペイントできないため、トイレのドアを外して、黒板塗料を塗った板をドアとして取り付けている。左下部には愛猫の出入りもつけて、実用性もバッチリ。

＜ヘリノックス＞のコットと＜モンベル＞のマットレス、シュラフを部屋でも愛用中。子どもができてからは一緒に眠ると危ないので、こちらの簡易ベッドを使用している。

ベージュを基調にした室内には、新田さん自身がアメリカはカリフォルニアで購入した雑貨類をインテリ小物として飾り、カリフォルニアの開放的な雰囲気を演出している。

雑誌の棚として使用しているポップなテイストのチェアは、意外にもオフィス用家具のリサイクルショップで購入したもの。下にはエアプランツのキセログラフィで飾っている。

大好きなカリフォルニアの空気感を色味や雑貨で再現。

キットをひとつ購入すると、緑の必要な被災地へ一本の木が贈られるというグリーンブランド、〈アーバングリーンメーカーズ〉を運営する新田さん。そんな彼が心から愛するというのが、カリフォルニアの自然や街並である。

部屋に飾られているインテリア雑貨のほとんどは、カリフォルニアで手に入れたもの。一年に一度は必ずカリフォルニアへ実際に足を運び、そこで見つけたお気に入りを購入。部屋のあちこちに、現地で買ってきたというアイテムが散りばめられていた。

新田さんのお部屋の中でも特に印象的なのが、ベージュを基調にしたファニチャーで統一したカラーリング。まるで西海岸の砂浜を連想させる、ナチュラルな雰囲気に仕上げている。

ROOM 15

OUTDOOR Lover's INTERIOR

》間取り
1LDK

ROOM SPEC

エリア：埼玉県戸田市
居住年数：5年
住宅形態：賃貸マンション
築年数：5年

URBAN GREEN MAKERS
創設者
新田拓真さん（26歳）

Photo ／ Chie Kushibiki Text / Arata Homma

1

2

4

3

1_ テレビ台の脇には観賞用のグリーンゾーンを設置。自身で手掛けるブランドのテラリウムやエアプランツで構成し、グリーンならではの癒しのバイブスを部屋中に散りばめる。

2_ ＜アーバングリーンメーカーズ＞がリリースしている、電球のガラス容器に入れたテラリウムキット。手入れが不要なため維持が楽なので、ひとり暮らしでも手軽に育てられる。

3_ カウンターの下には小物用の棚を設置。カリフォルニアを意識してヴィンテージのトレイやサーフボードも配置。爪切りなど生活用品ばかり入れているが、そうとは決して思えない。

4_ ベッドルームに置かれたサイドテーブルの中央には白熱電球のライトを設置。サンタモニカのインテリアショップで購入した代物で、電球をタッチして３段階で明るさ調整できる。

1_ 壁にあるのは＜ジャーナル スタンダード ファニチャー＞のノベルティバッグ。コットン製でタフな作りなので、ハンドルをピンで壁に固定してエアプランツのプランターとして流用。

2_ キッチンとリビングを仕切るカウンターの上にはオーディオデッキやサーフボードでカリフォルニアの雰囲気を演出。壁には自作のファブリックパネルでポップさもプラスしている。

1

2

ROOM

OUTDOOR
Lover's
INTERIOR

16

<ヨカ>のモットーである名言「雲の上はいつも晴れ」を意味するワードと、奥さんの先輩であるアーティストの描いた作品が壁に。複数のランタンも飾られており、さり気ないアウトドア感をかもす。

間取り
2LDK

ROOM SPEC
エリア：東京都目黒区
居住年数：4年
住宅形態：賃貸マンション
築年数：39年

トゥエルブトーン CEO
角田 崇さん
トゥエルブトーン デザイナー
角田恵理さん

資料や小物、ランタンなどが収められた壁際の棚は、OSB 合板を使って自作。キャスター付きなので模様替えも負担なく実行できる。「カットだけ業者さんにオーダーしました」。

ウッドの素材感を押し出して、無骨だけど優しいUS的空間に。

アウトドア対応のファニチャーブランド、<ヨカ>を夫婦で運営している角田さん。事務所兼自宅を自分たちが生み出すプロダクトと相性がよい、アメリカ西海岸の雰囲気でまとめている。存在感があるメインテーブルは足場板を使ってD.I.Y.。「ポートランドを訪れた際に見た、アジのあるテーブルが忘れられず……。もともとは北欧的なデザインだったのを天板だけ付け替えて、ヴィンテージ風にカスタムしました」。

ほかにも、黒板塗料がペイントされた板を壁に貼り付けたり、ワークデスクとリビングはスチール製ガレージフェンスで区切ったりと、USカルチャーの影響を窺わせるユニークなひと工夫が光る。「インテリアといえば北欧一辺倒だったひと頃に比べ、USっぽく崩したスタイルが世間でも盛り上がってきましたね。私たちの好みと流行がマッチしてきてうれしい限りです」。

2

1

1_ 角田さんがこれまでにデザインしたオリジナルのキャラクターたち。細かく小さいながら主要なパーツは木でできている。「このテクニックを応用して、ウッドクリエイターの道へ」。

2_ スマートフォンを挿せば OK のスピーカー。<ヨカ>の小物系で特に高い人気を誇る。「シンプルですから簡単に組み立てられます。10個以上のプロトタイプを経て誕生しました」。

Photo ／ Hiroyuki Yamada　Text ／ Sachio Kanai

2

ベランダの壁色がイマイチ好みではなかったため、連結させた足場板でカバーを。奥さんのアイデアだそう。「板を接着して立てかけるだけの簡単な作り。とはいえ効果抜群です」。

SIDE

FRONT

数ヵ月前に購入した'83年製チェロキー チーフ。迫力の存在感をいかし、今後は看板カーとして活躍させる予定だとか。「燃費こそよくはありませんが、夫婦で惚れ込んでいます」。

2

3

1

1_ <ヨカ>オリジナルのツールボックスを収納に利用し、グリーンのアクセントはエバーフレッシュで。余った薪を展示に使って好評だったことから、インテリアにも流用している。

2_ 「アウトドアにまつわる仕事なら、もっとキャンプへ行ける!はずが出荷の増加につれ頻度が下がり、行けてもテストや撮影のため。仕事にするってこういうことかと(笑)」。

3_ リビングの半分はクリエイティブスペース。きっちり仕切らずとも無機質なスチール棚を設置することで引き締めバッチリに。空気感を変えて居住エリアとメリハリつけたのだ。

ソファ後ろにある木製の壁は『ディアウォール』というD.I.Y.グッズを利用して作った。壁を傷つけず、施工も簡単。費用は木材や金具など全て込みで2万円で収まった。

1_ 丸テーブルは大阪の「スクウェア」という木工所でオーダー。「四角いテーブルと違って、どこに座っても顔を合わせられるので一体感を感じられるんです」と寺田さん。

2_ 流木を積み重ねたオブジェはインテリアショップで購入した。共に天井から吊り下げられたエアプラントは、週に何回か霧吹きで水分を与えるだけで育つので、手間いらず。

3_ 玄関の靴箱は寺田さんの手作り。アンティーク感を出すために、表面をオイルステインで塗装している。運びやすいように、ネジを外すと小さく畳めるように設計された。

インテリアをアウトドアに持ち運ぶ、リビング12畳の一軒家。

冬場もキャンプに出かけるほどアウトドア好きの寺田さん。お仕事はアウトドアブランドのマネージャーを勤め、公私ともに外遊びを親しんでいる。担当ブランドは個性的な製品が多い〈ドッペルギャンガーアウトドア〉と、「外に持ち出せるインテリア」がコンセプトの〈ゴーイングファニチャー〉だ。

ご自宅は奈良県生駒市にある築32年の借家で、4LDKの二階建て。リビングにある自社製のソファは6kgと軽量で、座面を取り外して丸洗いができる。このソファは屋内だけでなく、キャンプに持ち出して使うこともあるという。

たっぷりと日の光が差し込む12畳のリビングには植物が多い。インテリアも相まって、屋内にいながらアウトドア気分になれるご自宅だった。

ROOM 17

OUTDOOR Lover's INTERIOR

DOPPELGANGAR OUTDOOR®
Going Funiture
ブランドマネージャー
寺田英志さん（32歳）

http://www.doppelganger-sports.jp/
http://www.goingfurniture.jp/

》間取り
4LDK

ROOM SPEC
エリア：奈良県生駒市
居住年数：1年
住宅形態：一軒家（借家）
築年数：32年

ソファは寺田さんが勤める会社の製品で、アウトドアにも対応できる。隣にあるストーブは<トヨトミ>製でランタンの形を模しているそうだ。

1

2

1_ お子さんの秘密基地になっているティピーテントは奥さんの手作りで、丸一日で完成した。構造は木材の棒を紐でくくって布地を貼り付けただけなので、意外と簡単にできるという。

2_ <チャムス>のマグは奥さんと色違いのおそろい。中に入っているのはお子さんの色鉛筆かと思いきや自社製品の蛍光色のペグ。奥に見える赤と青の筒は、同じく自社製品のランタン。

スケートボードの板は、廃棄される自社の試作品をもらってきたもので、インテリアのアクセントになっている。仕事柄、廃棄される試作品をD.I.Y.に再利用することも多い。

ROOM 18

OUTDOOR Lover's INTERIOR

》 間取り 1LDK

ROOM SPEC
エリア：東京都墨田区
居住年数：2 年 3 ヵ月
住宅形態：賃貸マンション
築数年：27 年

unico 本社スタッフ
千葉一孝さん（32歳）

「3m 近くも高さのある天井と、広い収納がお気に入り」というお部屋は築27年。クリーンな白壁が印象的だが、[illegible]成りの風合いが新築にはない落ち着きをかもし出し、ヴィンテージ感ある家具やインテリアとも抜群の相性。

フェスに行く際には持ち出される<コールマン>のランタンはカモフラージュ柄をセレクト。「どこか古ぼけた風合いが好きで」と、小物入れとして活用しているボックスと一緒に床に置かれた様子は、まるでオブジェの趣。

ベランダのデッキは２×４材をすのこ状につなげて自作。ある程度の高さを出し、下から水が抜けるようになっている本格派。夏場にはここで友人たちと夕食を取ることもあるそう。

アウトドア的趣味から生まれた家具で憩う、落ち着きのインドア空間。

千葉さんのお部屋を見渡して、瞬時に「彼はアウトドア好きだ」と見抜ける人がいたなら、それは千里眼の持ち主かもしれない。木の風合いに見惚れるテーブルやラック、趣とセンスに満ちたオブジェのレイアウトと、インテリアに一家言あるのはすぐに分かるが、アウトドア的要素はといえば、けっして多くはない。

しかし千葉さんは正真正銘のアウトドア好きであり、とりわけフェスにご執心。今年もグリーンルームを皮切りにフジロックはもちろん、朝霧ジャムにも足を運ぶ予定だ。

とりわけ彼のアウトドア好きを裏付けるのが「フェスに行くなら、キャンプ泊で出掛けたい」という言葉。「最初は車中泊で行き始めたのが、一度、キャンプ泊を経験したらハマってしまって……」と話してくれたが、千葉さんにはもうひとつ、愛すべき趣味がある。それがD．I．Y．だ。

アウトドアの醍醐味は、ギア収集にもある。しかし高機能ばかりを網羅していてはお財布が持たないし、手頃なモノでは使いにくいこともめずらしくない。「ならば」と千葉さんは外に持ち出すテーブルやチェアの自作を始め、結果、生み出されたアイテムは、お部屋を飾るにまで至る。

しかしお部屋はアウトドアではない。あくまでもインドアだ。「古きよき町並みが好き」と下町風情の残る墨田区に住まう千葉さんは、家具やインテリアにも経年の趣を求める。

そうして集められたインテリアに彩られたお部屋は、落ち着きある仕上がり。しかしキャンプにハマったのをきっかけに始めたD．I．Y．家具がところどころを飾り、木材特有のネイチャー感が、さりげなくアウトドア好きのニュアンスを添えている。

「ギャラップ」や新木場の木材店など、複数のショップで買い集めた古材で自作。天板のフレームに敷き詰めるように作っているが、製作費用はトータルで約8000円だったそう。

折り畳み式テーブルもD.I.Y.。「作り方はインターネットを参考に、似たようなデザインからいいところを組み合わせて」という結果、キャンプにも持ち出しやすく持ち手付きだ。

1

3

2

1_ アメリカの「トイザらス」限定で発売されたマシュマロマンのフィギュアとレゴ製のパックマンをスケートボードにオン。落ち着きあるお部屋にアクセントを添えるポップな演出がニクい。

2_ こちらのマガジンラックも雑誌で見かけた家具を参考にD.I.Y.したというからおどろき。あえてキズ風の削り出しを施し、ブライワックスを塗ってヴィンテージ調の風合いに仕上げている。

3_ キリムのクッションは「ウニコ」で4000円ほど。<ジョイント クリエイション>と<ビームス>のコラボクッションはフリマでGETしたが、中がビーズ材で「抱き心地も抜群」。

<ステューシー>と<ウィルソンブラザーズ>のコラボによる工業用クラフトペーパーを用いた組み立て式テーブル。イギリスと日本限定でリリースされた、なかなかのレアモノ。

木製ベンチは「ウニコ」で３万1000円ほど。雑貨屋で１個約1000円だったというボックスを２段重ねて本棚としているが、上にはパソコンを置き、仮のデスクとしても活用中だ。

1_「ゆるい感じが好きで」と、加賀美健氏のイラストレーションはほかにも５点ほど所持。氏が手掛ける「ストレンジストア」でピンと来るものを見つけては、連れて帰っているそう。

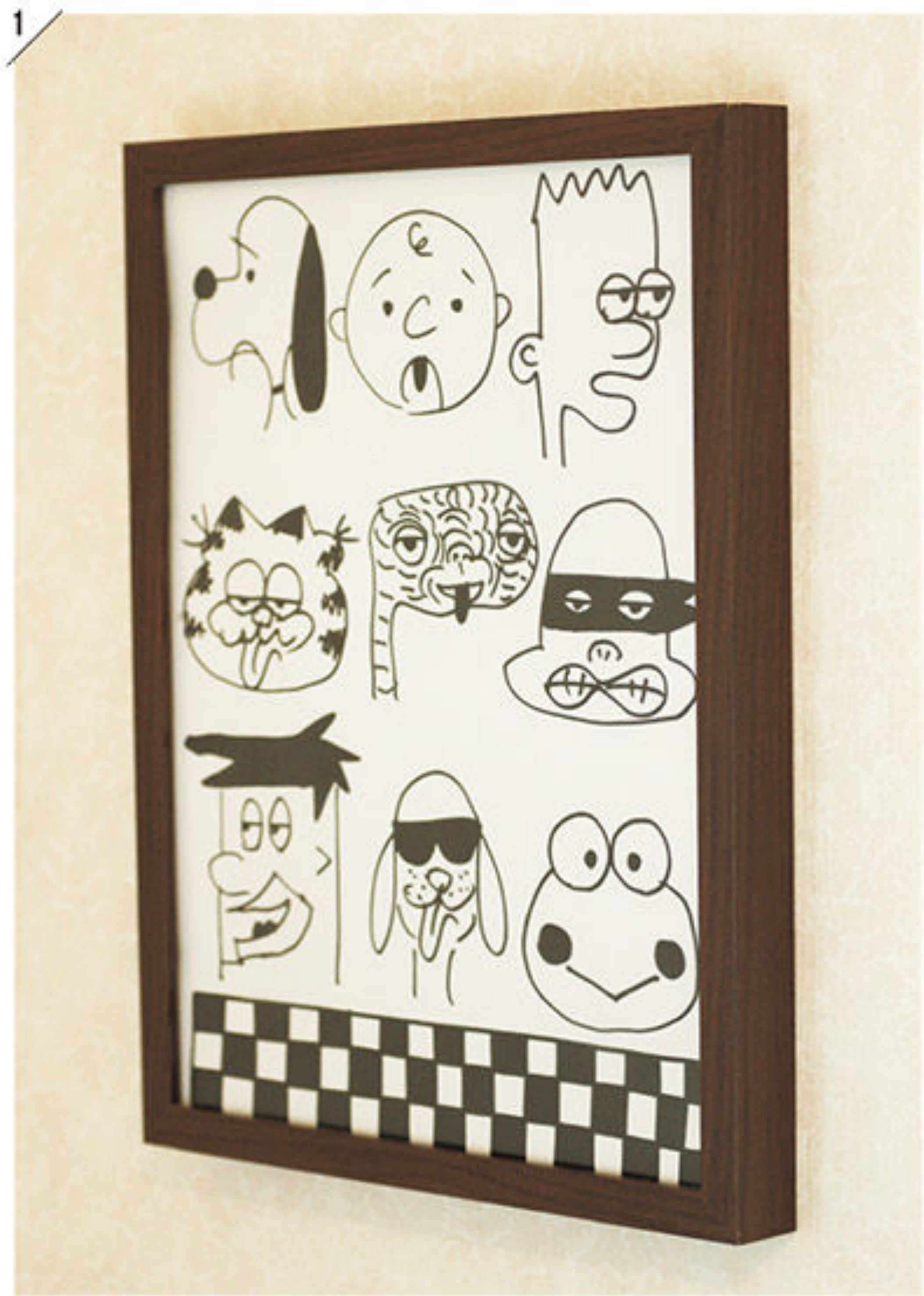
2_経年変化こそといった渋みをかもし出す棚は「近所のタバコ屋さんが店を畳んだときに譲り受けたもの」。中にはお気に入りの和食器がセットされ、千葉さんのお宅で今も現役だ。

3_完成度の高さから既製品に見えるが、こちらのオブジェも拾ってきた流木で自作。中央にしつらえたライトを囲むよう流木を並べ、バランスを見ながらヒモで固定すればこの通り。

3

2

1



APPAREL BLAND MEETS

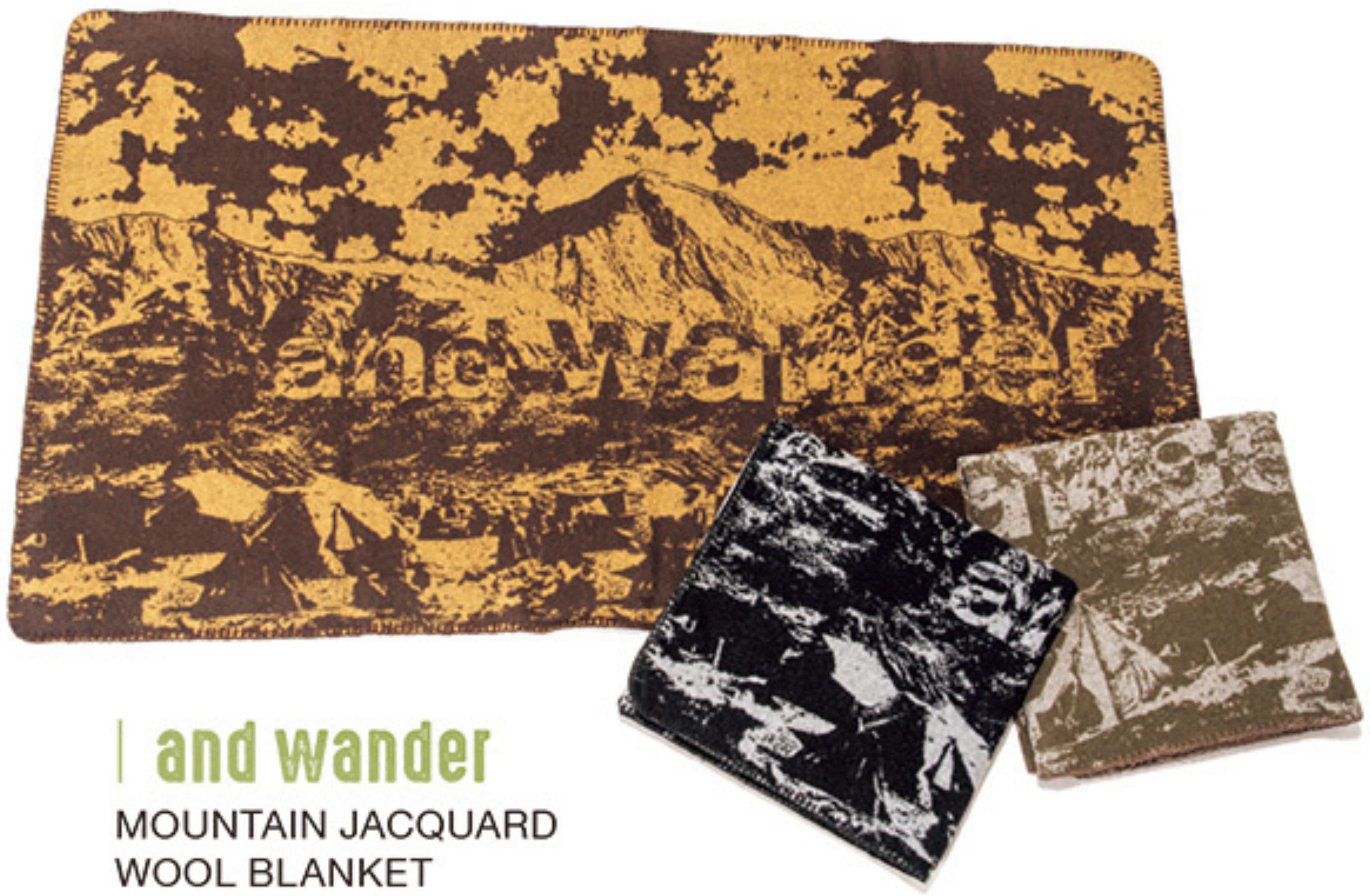
Interior

アパレルブランドが手掛ける おしゃれインテリアグッズを厳選。

FASHION FLAVOR LIVING GEAR CATALOG

ファッションブランドが手掛けたコラボ・別注物を中心に、
家具や雑貨、食器など魅力的なインテリアグッズを集めてみました。
さまざまなジャンルの中から、あなたのお部屋に
ピッタリの逸品がきっと見つかるはず。

Photo ／ Akiko Fukada　Styling & Text ／ Takahiro Nakajima



and wander

MOUNTAIN JACQUARD
WOOL BLANKET

テント場から望む山々や大空などがあしらわれた写実的な風景画をジャカード織で表現したウール製ブランケット。中央にはさりげなくブランドロゴが鎮座する。７月発売予定。

SIZE：W1400×D700mm　各¥17280（アンドワンダー）

Monro

ROUND CUSHION、
CIRCLE RUG

＜モンロ＞お得意の幾何学柄をウール混ジャカード織りで表現したスツールとラグ。お部屋はもちろんキャンプ時にテントの中でなど、＜モンロ＞らしいイン&アウトを体現した逸品だ。

SIZE：《スツール》Φ500×H300mm、Φ1580mm
¥37584、¥34560（キキ）

LEFT OVER

PENDLTON REMAKE
CUSHION

＜デトアーライフ＞と＜フリッジ＞の共作銘柄発、フリンジとアップリケがキュートなクッションは、ビンテージの＜ペンドルトン＞製ウールブランケットを使ってリメイクした一点もの。

SIZE：W450×D450mm　各¥17064
（フリッジ セタガヤ セントラル）

WARLOCK × NEIGHBORHOOD

NW-02 ／ WS-BENCH

店舗内装や什器製作を手掛ける＜クラフツマン＞と共同制作したスツールは、スチール製のベースに木製座面を組み合わせたシンプルながらも存在感のあるデザインに仕上がっている。

SIZE：W485×D450×H485mm　¥48600（ネイバーフッド 原宿）

Monro

OIL LAMP

臭いやススが出ないレインボーオイル（別売）を使うオイルランプは、優しく揺らぎある炎を楽しみたい。サイズによって８～56時間まで対応し、火消し用の木製キャップも展開。

SIZE：《右》Φ100×H140mm、
各¥1404～¥4212（キキ）

HASAMI × hobo

BOWL & PLATE

ツヤを抑えたやわらかな色目と地肌の土色を出して表現した食器たちは、長崎県・波佐見焼謹製。空気を抜き、ガスを入れて、焼成温度を上げる還元焼成で焼き上げた意欲作だ。

SIZE：〈左〉Φ 247 × H30mm　¥4860 ～¥8100（ベンダー）

NO,10 PRODUCT BY CRANK TOKYO × journal standard Furniture

LAUNDRY BAG

バッグブランドの雄、＜クランクトーキョー＞が今年より手掛けるインテリアレーベルに早くも＜ JSF ＞が別注。内側がターポリン仕様になったランドリーバッグは鉢カバーとしても使える。

SIZE：Φ 500 × H550mm　¥9720
（ジャーナル スタンダード ファニチャー渋谷店）

SECOND LAB × EVERLAST

GROVE CUSHION

ライフスタイルグッズブランドの＜セカンドラボ＞に NY 発の老舗ボクシンググブランドである＜エバーラスト＞が別注をかけたグローブ型のクッション。

SIZE：〈大〉W410 × D520 × H220mm　¥16200（サードオフィス）

PENDLTON

CAMP ENAMEL SET

アイボリーベースにティピーのイラストが描かれた、いい意味で＜ペンドルトン＞らしからぬミニマムなルックスが魅力のホーローシリーズ。プレート× 2、ボウル、マグの 4 点セット。

SIZE：〈左〉Φ 270 × H30mm
¥8532（エイアンドエフ）

TRUCK × hobo

WATERPROOF
LEATHER LOW CHAIR

大阪の人気家具銘柄とタッグを組んだ折り畳み式ローチェアは、既存モデルを＜ホーボー＞らしいグレーベージュの撥水スエード生地で張り替えた。このほか、バッグやエプロンなども展開。

SIZE：W550 × D640 × H640 × SH210mm
¥56160（ベンダー）

JM × Buaisou × MADE BY SEVEN -REUSE-

WOOD SPEAKER

ウッドワークデザイナー＜ JM ＞が製作する電源不要の木製スピーカーを阿波藍の産地として知られる徳島県発＜ブアイソウ＞が得意の藍染めで仕上げた。＜ MB7 ＞の真鍮ロゴもよし。

SIZE：W140 × D115 × H430mm
¥45360（ブルーウッド）

DETOUR LIFE

DISE CUSHION

アメリカ軍のキルティングブランケットをリユースしたサイコロ型クッション。中綿には弾力性のあるポリエステル生地を3kgも使い、ちょっとしたスツールとしても使える。

SIZE：W400×D400×H400mm　¥15984（ツノカワファーム）

HARFTRACK PRODUCTS × fridge

NONSLEEP CUSHION

手持ちのウェアなどを詰めて、膨らみや硬さを自分好みに調節できるクッションカバー。こちらは背面を60／40クロスの豹柄に変更し、プリントも大きくインパクトのあるものに。

SIZE：Φ 650mm　¥8316（フリッジ　セタガヤ セントラル）

BLOOM&BRANCH

CUTTING BOARD、RICE SCOOP

木工作家の佐々木毅氏に製作を依頼したカッティングボードとしゃもじ。山桜とクルミ（しゃもじのみ）という天然素材をいかし、使いやすさと美しさを両立した職人技を堪能してほしい。

SIZE：〈カッティングボード右〉W350×D300×H30mm（個体差あり）
¥4320～¥9180（ブルーム&ブランチ 青山）

Jon Contino × journal standard Furniture

PAPER BOX

ニューヨークを拠点に活躍するアーティスト、ジョン・コンティノ氏とのコラボシリーズで、こちらは氏が手掛けたさまざまなアートワークが全面に施された段ボール製の収納ボックス。

SIZE：W355×D420×H280mm　¥1404
（ジャーナル スタンダード ファニチャー 渋谷店）

IRON HEART × AME HOLIDELIC

17OZ HEAVY HICKORY FABRIC

キャンプやバイクツーリングで人気のカーミットチェア用として、ヒッコリーストライプの交換ファブリックが新登場。17オンスの極厚素材で耐久性も抜群。（※チェアは別売り）

SIZE：〈右〉W570×D530×H620×SH300mm
〈左〉¥8640、〈右〉¥9180
（デイトナ・インターナショナルAME Div）

Hummingbirds'hill shop

CANDLE HOLDER

幸運を招くといわれるハチドリと馬蹄があしらわれた鋳鉄製のキャンドルホルダー。ハチドリ部分はくりぬかれており、キャンドルの灯りが絶妙に漏れるようになっている。日本製。

SIZE：Φ 80 × H70mm　¥4320
（ハミングバーズヒルショップ）

SUEKI CERAMICS × KS HOUSEHOLD DEPARTMENT

FLOWER POT

<キャプテン サンシャイン>のデザイナーである児島氏が個人的に収集しているU.S.NAVY のテーブルウェアから着想を得て、<スエキ セラミックス>に特注した新作のフラワーポット。

SIZE：《大》Φ 160 × H135mm　¥3240 ～¥5940
（クリップ クロップ）

and wander

HIGH LOFT FLEECE BLANKET

ポーラーテック社のフリースを採用したブランケットは、角にあるポケットに収納するとクッションとして、ボタンで留めるとポンチョとしても使える優れもの。7 月発売予定。

SIZE：W1500 × D1000mm　各¥27000
（アンドワンダー）

DETOUR LIFE

POTHOLDER

ペイズリー柄が目をひくこちらは本物のバンダナを使い製作された鍋つかみ。裏地にはデニム生地を採用し、中綿もしっかりと封入され使い勝手もいい。ペナントタグがポイント。

SIZE：L260mm　各¥3780
（ツノカワファーム）

TCSS

PEACE CUSHION

オーストラリア発のサーフブランドが手掛けるクッションは、得意のアートワークより生まれた架空のキャラクターがオン。そのファニーなルックスは部屋のアクセントにぴったり。

SIZE：L500mm　¥8424（ポートオブコール代官山）

CALIFORNIA DEPT × MADE BY SEVEN -REUSE-

SKATEDECK STOOL、RAG MAT、CUSHION

和洋折衷とは正にこのこと。<カリフォルニア デプト>がオリジナルで製作したネイティブ柄のラグマットとクッションに加え、< MB7 >とコラボしたデッキスツールも同時リリース。

SIZE：《ラグマット》W1200 × D900mm
《スツール》¥43200、《ラグマット》¥17280、《クッション》¥12960（カリフォルニア デプト 原宿店）

NEIGHBORHOOD

P-BOOK BOX

ブック型で形成されたオリジナルボックスは、鍵やアクセ、写真やハガキなど身の回りの小物類の収納に役立つ。本棚に忍ばせて大切な愛用品をカモフラージュしてもいいだろう。

SIZE：W183 × D240 × H60mm、W120 × D40 × H180mm
¥11880、¥8640（ネイバーフッド 原宿）

NO,10 PRODUCT BY CRANK TOKYO × journal standard Furniture

WALL POCKET

キャンバス×レザーにハトメやリベットなど金属パーツを使った大型のウォールポケット。大中小と 12 室もあるので、郵便物や文具など身の回りの小物を整理するのに重宝しそうだ。

SIZE：W600×H700mm　¥10800
（ジャーナル スタンダード ファニチャー 渋谷店）

AlexanderLeeChang

PINYYAPPLE KATORI NEKO

これからの季節に重宝しそうな蚊取り線香の器をオリジナルでリリース。通常はブタがモチーフだが愛くるしい瞳の黒猫で表現したアイディアはさすが。お香立てにもおススメ。

SIZE：W160×D230×H230mm　¥5400（チャング）

RESCUE SQUAD

HIKESHI-MASU

ヒノキ製の枡に火消しの焼印……枡火消し……火消し枡……"火、消します"と、＜レスキュースクワッド＞らしいユーモアあふれる逸品。小物入れとしてデスクや棚に置いてもサマになる。

SIZE：W85×D85×H52mm　¥1620
（レスキュースクワッド）

reyn spooner × SAITO WOOD × MADE BY SEVEN -REUSE-

SKATE DECK STOOL、MAGAZINE RACK、WALL CLOCK

＜ペンドルトン＞で人気を博した同シリーズが今季は新たにハワイアンシャツブランド、＜レインスプーナー＞と共演。マガジンラックと掛け時計は＜サイトーウッド＞とのトリプルコラボだ。

SIZE：《スツール》W793×D215×H433mm《スツール》¥32400、《マガジンラック&クロック》各¥27000
（ブルーウッド）

Detail

SEE SEE

SKATE DECK FLOWER BASE

既存のスケートデッキデザインのフラワーベースに気鋭アーティスト、小田原愛美の作品が描かれたこちらは＜フリッジ＞先行発売。某浮世絵師の名作をキッチュなアプローチで表現した。

SIZE：W160×D120×H650mm　¥45360
（フリッジ セタガヤ セントラル）

TCSS

MUG

多彩なグラフィックが施されたマグカップは 100%リサイクルペットボトル素材で作られたプロダクトながら、一見磁器製と見紛うほどのクオリティの高さがウリ。耐熱～ 180℃。

SIZE：Φ 80 × H100mm
各¥3024
（ポートオブコール代官山）

Surreal

MASARU APRON

非常に肉厚で丈夫なブラウンダック生地を採用し、ペインターパンツモチーフのポケットや各所のリベット使いなど男気あふれるワークテイストなデザインに仕上げたエプロン。

SIZE：W500 × H650mm　¥15120
（シュルリアル）

Detail

Haoming × SoftBank HAWKS

MUG、BOOK COVER

さまざまな異業種コラボを仕掛ける<ハオミン>と福岡ソフトバンクホークスがコラボしたマグカップとブックカバーは、「HMV&BOOKS 博多」のオープン記念として作られた限定モデルだ。

SIZE：
《ブックカバー》 W110 × H155mm
《ブックカバー》 ¥4320、
《マグカップ》 ¥2160（ティグレ）

CAL O LINE

BANDANA CUSHION COVER

<キャル オー ライン>らしい西海岸の雰囲気が心地いいこちらは、肌触りのよいパイル地にビンテージバンダナをモチーフにした柄をあしらったクッションカバー。（※中身は別売り）

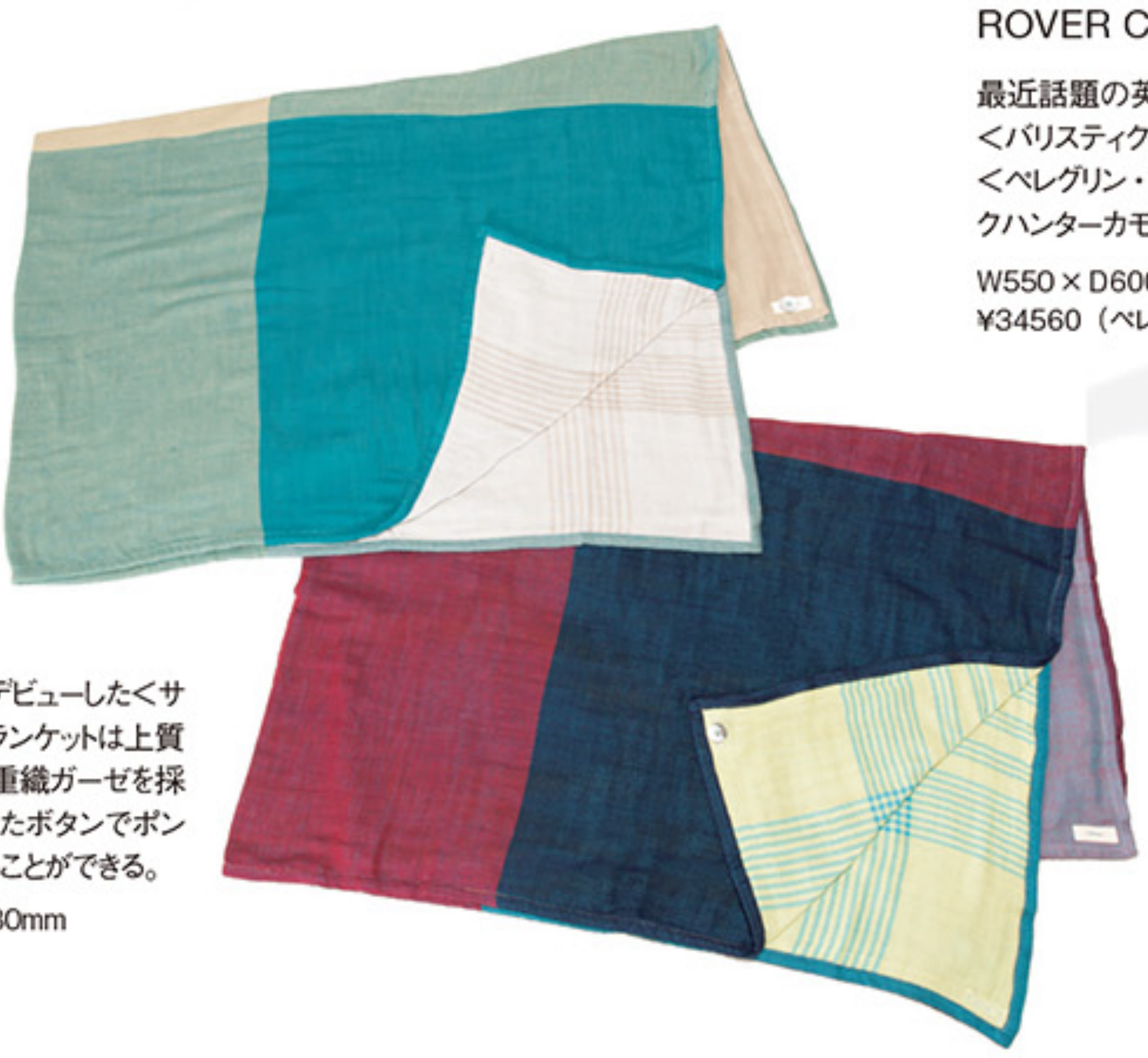
SIZE：W430 × D430mm　各¥4968
（ユナイト ナイン）

Peregrine Furniture × BALLISTICS

ROVER CHAIR

最近話題の英国ローバーチェアを<バリスティクス>が復刻。そこに<ペレグリン・ファニチャー>がダックハンターカモ柄で別注をかけた。

W550 × D600 × H880 × SH440mm
¥34560（ペレグリン・ファニチャー）



SALACS

BLANKET

昨年ビーチサンダルでデビューした<サラクス>が手掛けるブランケットは上質なコットン 100%の３重織ガーゼを採用。エッジに装備されたボタンでポンチョのようにも使用することができる。

SIZE：W2040 × D1330mm
各¥7992（サラクス）

HACHIGAHANA

PHOTO FRAME

天然のホワイトオーク材を用いたフォトフレームは優しい色合いとシンプルなデザインで、どんなお部屋にも合う汎用性が魅力。フレーム下部には真鍮製のブランドロゴが施される。

SIZE：《大》W290×D20×H235mm
《小》¥7344、《大》¥12960（ナップ）

BUENA VISTA

JAMON IBERICO BELLOTA

イベリコ豚から作られるハモン・イベリコをリアルに再現したファニーなクッション。スペイン製で一点一点プリントの表情が異なる。実際に使ってもよし、ぶら下げて飾ってもおもしろい。

SIZE：L600mm　各¥4320（ブエナビスタ）

ROOT

SHOPPING BASKET

1990年、米・テネシー州にて創業した「バスケットファクトリー」のショッピングバスケットに「ルート」のロゴをプリントした特別仕様。スタッキングも可能で、現在もアメリカにて生産される。

SIZE：W280×D150×H130mm　各¥3780（ルート）

Sunbath

MULTI COVER

リメイクを得意とするオーナーみずから、あらゆる素材の残布を駆使して手作業で仕上げた大判サイズのマルチカバー。ソファにかけたり、床に敷いたり、使い方はアイディア次第。

SIZE：W1200×D2000mm　¥19224
（サンバス）

Kalita × URBAN RESEARCH DOORS

DRIP POT SLIM

上質なコーヒー器具を展開するカリタにカラー別注。金属生産地として名高い燕市で作られたステンレス製ポットをモダンなアプローチで仕上げた。このほか、銅製モデルも展開。

SIZE：¥28080
（アーバンリサーチ ドアーズ 渋谷モディ店）

BINDU × AMERICAN RAG CIE

APRON

<ビンドゥー>が手掛ける5種類のバンダナを使って、パッチワークで構築した別注エプロン。首から掛けるキッチンタイプと腰に巻くギャルソンタイプの2モデルにそれぞれ3色展開。

SIZE：《上》W600×H900mm　¥7128～¥10584（アメリカンラグ シー 渋谷店）

ACME Furniture × BIANKS

GRANDVIEW BENCH

＜アクメ ファニチャー＞オリジナルのオーク材×アイアン脚のベンチに、ライブペインティングなどで人気のアーティスト、神山隆二氏が直接アートワークを加えたスペシャルメイド。

SIZE：W1500×D285×H435mm ¥102600
（アクメ ファニチャー 渋谷店）

FILSON

TWILL TRAVEL TRAY

小銭や鍵、アクセサリーなど細々したものを入れておくのに便利なツイル×レザーの小物入れは、スナップを外せば丸く薄い板状になるので旅行など持ち運びにも便利なアイテム。

SIZE：《展開時》Φ 230mm 各¥4860（アウターリミッツ）

Hummingbirds shop

SILVER ASHTRAY

ナヴァホ族の血をひくシルバーアーティストに製作を依頼したオリジナルのアッシュトレイ。裏にはショップの頭文字 "HBH" が施される。小物入れとして永く愛用したい逸品だ。

SIZE：Φ 80×H20mm ¥51840
（ハミングバーズヒルショップ）

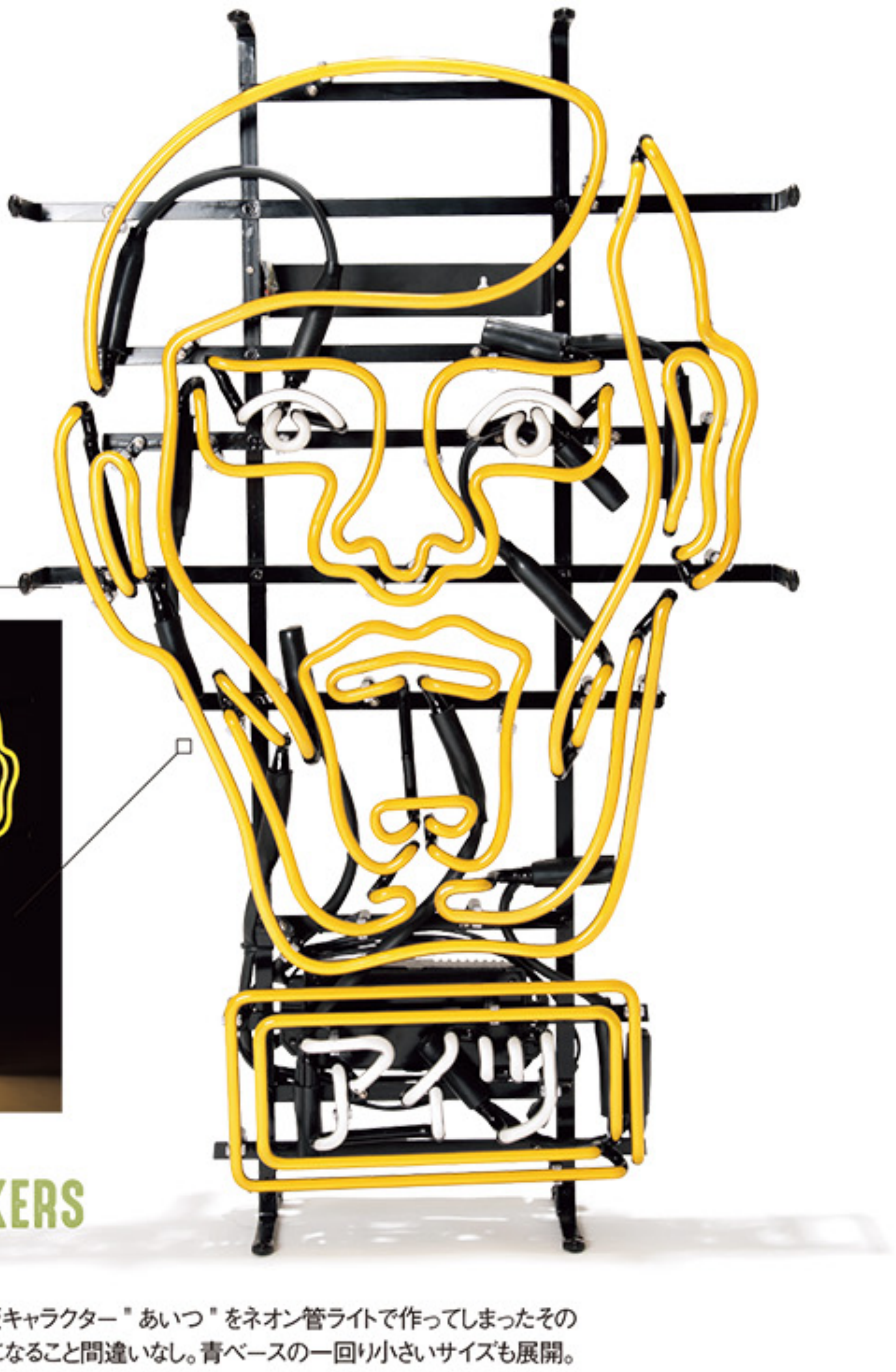
VOLCOM

CIRCLE STONE COASTER SET

ボルコムを象徴するサークルストーンロゴがあしらわれたコースターは、コルク製なので水分を適度に吸収しやすく、グラスやマグなど滑りにくいのが嬉しい。4枚セット。

SIZE：Φ 90×H5mm ¥1080
（ボルコム ジャパン）

Detail



MOUNTAIN RESEARCH

MOUNTAIN MUG CUP

＜マウンテンリサーチ＞としては初リリースとなる磁器製のマグカップは、長崎県・波佐見焼による一品。サイドにはおなじみの親子鳥グラフィック、底面には "A" マークが施される。

SIZE：Φ 70×H90mm ¥2700
(..... リサーチ ジェネラルストア)

PUNK DRUNKERS

AITSU NEON

＜パンクドランカーズ＞の看板キャラクター " あいつ " をネオン管ライトで作ってしまったその心意気に脱帽。部屋の主役になること間違いなし。青ベースの一回り小さいサイズも展開。

¥SIZE：W480×D150×H780mm ¥73440（鷹の爪）

THE NORTH FACE
STANDARD TISSUE CASE

京都店オープンを記念して製作されたキャンバス素材の薄型ティッシュケース。箱から詰め替えて使用するタイプで、ティッシュケース独特の生活感が苦手な方におススメしたい。

SIZE：W200×D100mm　¥2700（ザ・ノース・フェイス スタンダード）

NUTS ART WORKS × ACME Furniture
NAW WELCOME MAT

国内サインペインターのパイオニア的存在、＜ナッツアートワークス＞が手掛けたデザインをエントランスマットで表現。ココヤシの硬い繊維が泥など靴底の汚れを落としてくれる。

SIZE：W700×D450×H15mm　¥4320（アクメ ファニチャー 渋谷店）

The Skateroom × Andy Warhol
COLORED CAMPBELL'S SOUP CANS

アートとスケボーを融合し、青少年の自立と成長をサポートする団体＜ザ・スケートルーム＞と＜アンディ・ウォーホル＞のコラボ。名作"キャンベルスープ缶"を大胆にあしらった。

SIZE：W200×D13×H800mm　各¥33696（MoMA デザインストア）

Detail

MELIN TREGWYNT × PACIFIC FURNITURE SERVICE
WOOL BLANKET

英国・ウェールズ地方のファブリックファクトリーに別注したウールブランケット。ウェールズ地方の伝統的な柄"ヴィンテージスター"を限定カラーで製作した。

SIZE：〈L〉W1800×D2200mm　〈M〉¥34560、〈L〉¥39960（パシフィック ファニチャー サービス）

SEE SEE × fridge
CUPS CO - BUD VASE

一輪挿しとしても＜アポテーケフレグランス＞のキャンドルホルダーとしても使える2WAY仕様の＜フリッジ＞限定アイテム。リッドとクージーもセットで付属する。（キャンドルは別売り）

SIZE：Φ95×H135mm　¥13824（フリッジ セタガヤ セントラル）

Denime

DENIM WALL POCKET

セルビッチや赤タブなどジーンズ作りと変わらぬコダワリが満載のウォールポケット。インディゴのほか、ウォッシュ加工されたものもある。お部屋はもちろん、車内でも活躍しそう。

SIZE：W170×H630mm
¥5400（ドゥニーム ルミネマン渋谷店）

Champion

SWEAT BLANKET

<チャンピオン>らしいスウェット素材のブランケットはリバースウィーブと同じ綿90／ポリエステル10%の裏起毛肉厚素材を採用。このほか、"UCLA"も展開する。アメリカ製。

SIZE：W1120×D990mm　各¥9612（ヘインズブランズ ジャパン）

GOOD ON

GOOD ON BOY CUSHION

Tシャツを製作する中で出るハギレを有効活用するべく生み出された愛くるしいキャラクター、グッドオンボーイのジャージー素材クッション。写真以外にもカラバリは豊富にそろう。

SIZE：L300mm　各¥3132（ビーグッドカンパニー）

Jon Contino × journal standard Furniture

SPRAY COVER

前出のボックスと同様、コンティノ氏のアートワークをあしらったこちらはスプレー缶に巻いて使うビニールカバー。家庭にある隠したいスプレーをオシャレに飾れるアイディアものだ。

SIZE：W230×H200mm　¥1404
（ジャーナル スタンダード ファニチャー 渋谷店）

N／G

DRIFT WOOD BASE

<ネペンテス>とインテリアデザイン工房、<グーファクトリー>のコラボ銘柄発、天然の流木にアレンジを加えたプロダクトで、3輪挿し、ツールスタンド、プラントスタンドの3種類を展開。

SIZE：《右》W220×D130×H140mm
《右 for FLOWER》¥10584、
《中 for EPIPHYTE》¥7344、
《左 for Tool》¥7344（ネペンテス）

RESQUAD

RQ PORTABLE SPEAKER

ブルートゥース仕様のロゴ入りポータブルスピーカーは、約10m範囲のワイヤレス対応と10時間以上の再生が可能。コンパクトながら、力強いサウンドを楽しむことができる。

SIZE：Φ78×H63mm　¥9720（レスキュースクワッド）

バーモントキャスティングス社の薪ストーブがリビングの一画に鎮座する。しかも人気のあまり偽物が出回っているホーローモデル。シブい質感と重厚さは見とれてしまうほど。

ROOM 19

OUTDOOR Lover's INTERIOR

》間取り 4LDK

ROOM SPEC
エリア：東京都東村山市
居住年数：2年
住宅形態：戸建
築年数：2年

会社員
和田則久さん

SIDE

FRONT

17年間乗り続けている '99年式ダッジ・ラムが足。「全長6m近くありますからね、かなり大きいです。おかげでテーマパークや百貨店に行くと、広い駐車場所を案内してもらえます」。

ハワイの気取らないライフスタイルを、日本で実践。

「ストーブのある家に住みたい!」と、和田さんは2回目のマイホーム改築を決行した。「すでに私の代で建て替えを一度していたのですが、納得できないポイントが多々ありまして……。今度は家族みんなの理想である、ストーブが軸の家作りに挑みました」。煙突を真っ直ぐ立てるため吹き抜けにし、床も空気が通る特殊な設計に。タイルには地震が起きたって滑りにくい、スペイン製のザラついた耐熱素材を用いている。「重量や通気、壁との距離など、設置には制約が多く面倒。それでも魅力があるインテリアだと思います。対面キッチンを諦めざるを得なかったのは残念ですが」。

ストーブだけでなく、天井のファンや各窓枠、手すりなどにもこだわりが。「輸入建材を多く使っています。経年変化が楽しめるよう、あえて強い塗装はせず。シーリングファンはハンター社製。メイドインジャパンにはない、アメリカらしい雑な作りがカッコいいんです」。

和田家のもうひとつの特徴が大きなガレージ。「リビングに次ぐ広さがあり、居住空間を圧迫しているとの声もあがります（笑）」。車庫内に収められているのはホットウィールやサーフギアなど。「プロジェクターにスクリーン、＜ボーズ＞のサラウンドシステムまで完備。映画館代わりになり、近所の方々とのパーティ会場としても申し分ありません」。

テーマとして全体に通っているのがハワイのカルチャー。30年以上に渡り、年に一回は必ず渡航するほど好きなんだとか。「若い頃からサーフィンをしていましたし、現地の友人が多くて。ガイドブックには載っていない、本当の名所を訪れることもめずらしくありません」。

2

1

1_ 予備の薪は屋外のラックに保管している。「今は針葉樹を使っていますが、本来は広葉樹が望ましいとされています。前者だと着火はしやすいのですが、持ちがよくないのです」。

2_ <ギブソン>の 355 をはじめ、大好きなギターに囲まれつつ、愛犬ジェフリーと過ごす至福の時。「<マウイミュージック>のバリトンウクレレは 2 度と作られないレアものです」。

ガレージ奥にはコレクター垂涎のホットウィールがズラリ。「USのナンバープレートも収集していて……。飾ってあるのはほんの一部。なかにはお宝も混じっていますよ」。

2

1_ ソファの脚を使ってオーダーしたというラックが天井に。「娘と私が使う＜アルメリック＞のサーフボードを置いています」。省スペースに欠かせない吊り下げ収納も抜かりない。

2_ ＜チャーブロイル＞の本格BBQグリルは昨年アメリカで購入。「30kg規制を受けないよう、２つに分けて梱包。それでもガス云々と注意され、持って帰るだけで一苦労でした」。

1

＜ラジオフライヤー＞のカーゴは、カートタイヤを取り付けたスペシャル仕様。アメリカでは子どものおもちゃや工具入れなどとして、一般家庭に必ず1台はあるといわれている。

17年前に入手した＜ニシキ＞のマウンテンバイク。「オールアルミ製ですから、指数本で持てるほどの軽さ。ただ、オフロードタイヤなので街乗りだとタイヤノイズが気になります」。

2

1

1_愛車のラジコンカーをディスプレイ。下にはアメリカ産洗剤の空き箱が。「カーケミカルはすべてアメリカで購入しています。そのため、日本製品に疎くなってしまいました」。

2_＜コールマン＞のヴィンテージクーラーボックスが無造作に置かれる。「もう手に入らないモデルですね。量産品となってしまった現行のものより、よく冷えるみたいです」。

入居時、すでに完成されていた仕事スペース。「そのままPCと本を入れればOKでした。エアコンが最低限しか露出しないよう設計されているあたりにこだわりを感じます」。

1_「イケア」のテーブル&ベンチは独立を機に購入。「前職は広告代理店のプロデューサー。1年半前からブランディングやプロダクトなど、いろんな人々と組みディレクション業を」。

2_階段を降りると小さなディスプレイスペースが。ばっちり光が当たる、専用のスポットライトまで設置されている。「お気に入りのトイや海外の友人からもらったお土産を置きました」。

ほかにない大胆な空間使いが、クリエイティブ心を刺激する。

ROOM 20

OUTDOOR Lover's INTERIOR

デリシャス ペアリングス
代表
窪田長久さん

間取り 1LDK

ROOM SPEC
エリア：東京都世田谷区
居住年数：1年6ヵ月
住宅形態：賃貸マンション
築年数：約30年

前の住人がフルリノベーションした物件を、居抜きで利用している窪田さんの住まい。「著名なアーティストに作品を提供していた作詞家さんが住んでいたそうです。とてもユニークな作りにひと目惚れし、内見後すぐに決めました」。ポリカ波板で囲まれたバスルームが部屋のほぼ中央に存在し、床には木と透明なアクリルを交互にセッティング。ベッドルームが地階にあるなど、確かに個性的な間取りとなっている。

「窓が大きく、昼間なら照明なしで十分なほど光が入ります。床がすのこ状なのは、地下にあるベッドルームに自然な朝日を取り込むための工夫でしょうね」。ディスプレイ棚やポスターも前家主の置き土産。「たまたま好きなアーティストの作品だったので、そのまま利用させてもらっています」。

Photo ／ Hiroyuki Yamada　Text ／ Sachio Kanai

愛用しているコーヒーグッズが整頓されて並ぶ。ほかには海外のお菓子やボトルなども
ディスプレイ。「パッケージがかわいいものにひかれます。ジャケ買いと言えますね（笑）」。

1

2

4

3

6

5

1_ 居抜きで残っていたポップな棚とロイ・リキテンシュタインのポスターを、処分せずに再利用している。「アクセントにいい存在感なうえ、収納が少ないのでありがたいです」。

2_ 中身を消費したあとも、デザインがイケていれば捨てずに陳列する。特に好みなのが＜タンネン＞のドイツキルシュ。「カットフルーツを浸しておくといいデザートになります」。

3_ メイン収納と寝室は地下に。＜無印良品＞のセミダブルベッドを置いても余裕の広さ。「押入れの取っ手がレザーなんです。細かい部分も手を抜かなかったのがわかります」。

4_ 堂々と佇むバスルームがインパクトを放つ。「ポジション的に部屋中がジメジメしないか心配しましたが、しっかり浴室乾燥機がついているため思った以上に快適です」。

5_「大学一年生の頃、中目黒のショップで２万円で購入したものです。メーカー不詳だから安くていいよと。何回か引越しを経験しましたが、このソファだけは捨てられません」。

6_ 部屋のデザイン性をいかすため、なるべく雑然とならないよう心がけ。キッチンだって収納しないツールは最低限にしてスッキリと。モノトーンでまとめている点も見逃せない。

ROOM

21

OUTDOOR Lover's INTERIOR

》間取り
6畳和室

ROOM SPEC
エリア：富山県富山市
居住年数：4年10ヵ月
住宅形態：一軒家（実家）
築年数：50年

介護士
ウラタシュンゴさん（32歳）

1_ 新緑が気持ちいいご自宅の庭と、風通しのよい縁側。ここでコーヒーを楽しむことも多いそうだ。敷いてあるラグはリバーシブルで、その日の気分でどちらを使うか決めている。

2_ 鉄のフライパンは、ドイツのターク社製。一枚の鉄の板を打ち出して作ったもので、メンテナンスを行えば100年使える。「道具は長く付き合えるものを選びたいですね」。

工具無しでここまでできる、6畳ひと間の秘密基地。

近くの海からは、車で1分の好立地。介護士のウラタシュンゴさんは、庭と田んぼに囲まれた富山市のご実家に住んでいる。和室をD・I・Y・したレトロな6畳間は一年前から改装を始めた。「工具を持っていないので、簡単に、身近にあるものの形や色を変えたりしています」と話すインテリアは、ふすまを改造してファブリックボードにしたり、100円均一の瓶を照明に利用したりと、創意工夫に満ちている。

ウラタさんの趣味は4年前に始めたキャンプで、仕事が終わると、行きつけのキャンプ場に泊まりに行くことも多いそうだ。キャンプで使うアウトドアギアは部屋の中でも大活躍。バーナーを使ってコーヒーを淹れたり、鉄のフライパンを皿代わりに使っている。

ウラタさんの生活に欠かせないのがコーヒーだ。毎日仕事に行く前と帰ってきた時に飲むコーヒーは、リラックスするための必須アイテム。コーヒーを淹れる場所は、押入れを改造したデスクや、庭が見える縁側。コーヒーと一緒に食べるナッツやクッキーを入れる蓋付きの瓶は、部屋のアクセントにもなっている。使う道具にはこだわりがあり、「道具はメンテナンスをしながら長く使えるものを選びたい」とウラタさんは話す。最近買った＜カリモクV＞のロッキングチェアは「20年後に表面のファブリックを張り替えて、子どもや孫ができたら受け継いでいきたいです」と説明してくれた。

6畳一間のウラタさんの小さな部屋は、日常を目一杯楽しむための、大人の秘密基地だった。

庭から見た縁側は奥に和室が見える。丸い文様が強い印象を残すテーブルはインドネシア製で、金沢でひとり暮らしをしていた頃にアジアンテイストの雑貨屋さんで購入したもの。

2

1

1_ 押入れを改造した棚はデスクにもなる仕様。ウラタさんはここで仕事をしたり、部屋のD.I.Y. のアイデアを練っている。金網が印象的な食器入れも端材を利用して手作りの品。

2_ 額に入れて飾っているのは、好きなバンドのボーカルが写真展を開いたときのフライヤーだ。木のマグは北欧の伝統的な木製マグカップ、ウッドジュエル社製のククサを使用。

1_ コーヒーに合うクッキーやナッツ類を瓶に入れてストックしてある。下に並ぶカメラはキャンプのお供として使っている＜リコー＞のGXRと、＜オリンパス＞のOM-DE-M1。

2_ ホーローのシンプルな見た目が好きだというウラタさん。コーヒーポットは＜野田琺瑯＞の月兎印のもの。コーヒーのドリッパーもホーローで、こちらはインターネットで購入した。

1

2

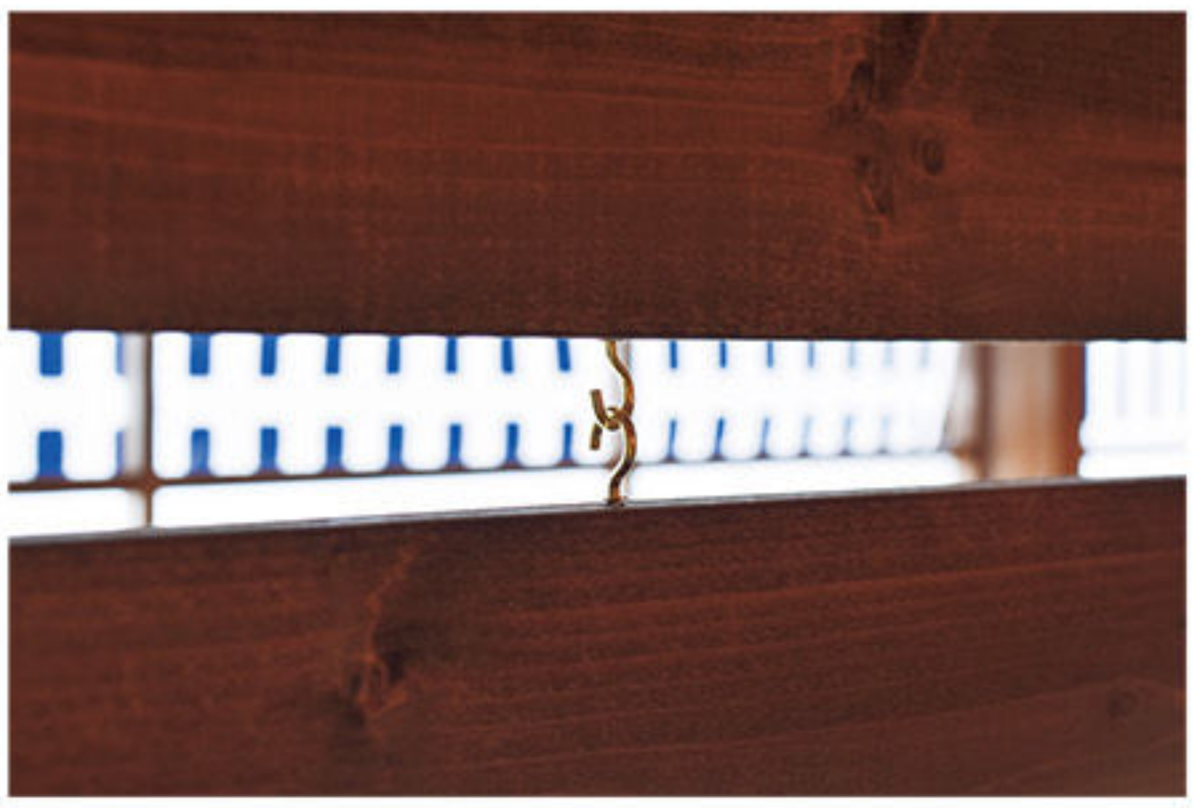
押入れを改造した棚でコーヒーを淹れるウラタさん。ガスバーナーに巻いてあるレザーのカバーは、友人のクラフトレザー工房＜池田舎＞で作ってもらったお気に入りの品。

花柄のボードは、取り外した押入れのふすまの背面に＜マリメッコ＞のファブリックをはめ込んだもの。「部屋が和室なので、レトロなものが雰囲気に合うと思ったんです」。

2

1

もともと部屋についていた障子を隠すために、ホームセンターで木材を買ってブラインドを作った。金具は手でねじ込み、木材もカットしてもらったので工具は使っていない。



1_ ブックラックは取り外したふすまの裏側に木材を取り付けている。「取り外したふすまは邪魔だし、どうしようかと考えていたらアイデアが浮かび、作ってみたら大成功でした」。

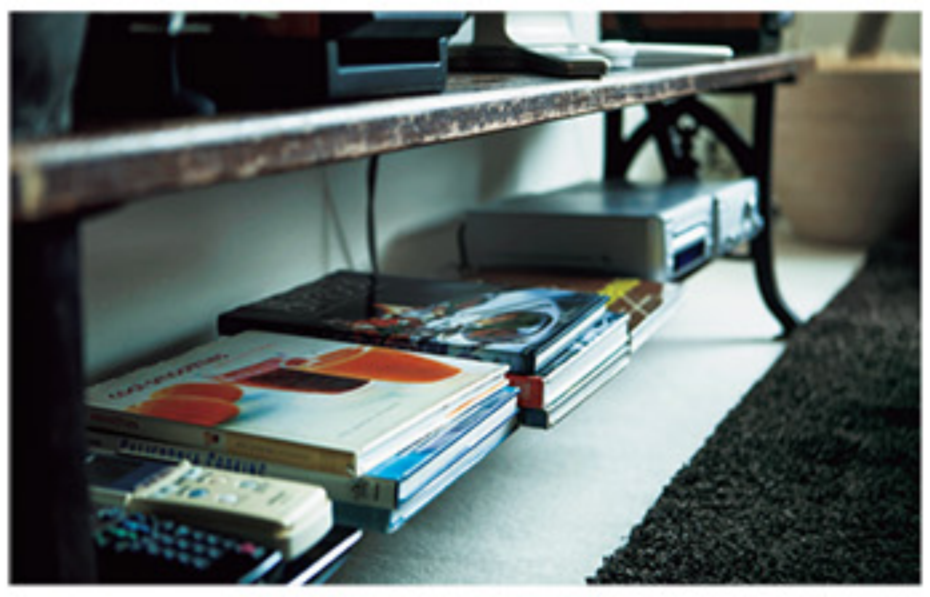
2_ 近くの海までは自宅から車で1分。拾った流木はヘッドホンや帽子をかけるのに利用している。<マリメッコ>の生地を張り直した青い障子の柄もレトロでかわいらしい。

ロッキングチェアは、ディズニーと木製家具メーカー<カリモク>のコラボ商品。はじめて座った時に、体が軽くなって浮いているように感じ、すぐに購入を決めたそうだ。

ROOM

22

OUTDOOR **Lover's** INTERIOR



テレビ台として使っているのは背もたれ付きのベンチ。1950～1960年代にイギリスで製造されたアンティークで、下段には棚もつくのでレコードやデッキ類の収納にも流用。

玄関スペースに置かれた味わい深い質感の机は小学校で使われていたアンティーク。その上に載る馬のオブジェもアンティークで、アメリカのロングビーチで購入したそう。

》間取り
2LDK

ROOM SPEC
エリア：東京都渋谷区
居住年数：5年2ヵ月
住宅形態：分譲マンション
築年数：12年

ビタミンシーエム ／ AWABEES ／ UTUWA ／ TITLES 代表
T.U.さん
http://www.awabees.com

リビングのテーブル＆ソファでくつろぐUさんのまわりにはさまざまな種類の観葉植物が置かれる。グリーンとブラウンで空間が統一され、ナチュラルな雰囲気そのものといえる。

まるで“外”でくつろいでいるような、グリーンに囲まれた憩いの空間。

通販カタログや雑誌の制作、撮影用小道具レンタルの会社を運営しているUさん。これまでにモダン系などさまざまなジャンルのインテリアを手掛けてきた中で現在行き着いたのが、インダストリアルと自然の融合する空間。

「新品には決して出せない、経年変化ならではの味わい深い質感が好きですね。それと植物。普段はオフィスで忙しく仕事しているんだから、家にいるときくらいは落着いた気持ちで過ごしたいですから」。

そんなUさんのご自宅にはアメリカやヨーロッパで購入したアンティーク家具のほかさまざまな種類のグリーンが置かれ、照明器具はすべて白熱灯で統一。多くの観葉植物と優しい灯りが絶妙にマッチし、暖かみのある空間が演出されている。

テレビの正面に置かれたテーブルは、滑車のついた台車を巧みに流用。イギリスのリンカーンにあるアンティークマーケットで見つけてひと目惚れしたそう。

2

1

1_ 棚は国内の雑貨屋で購入。印象的なハトのオブジェはオランダのデザイナー、クリスティン・メンデルツマ作で、時計はイギリスのアンティークマーケットで購入したもの。

2_ 照明器具もすべて白熱電球。アメリカ、ポートランドで購入。レールに装着されたフックを巧みに使い、観葉植物も効果的に吊るされ、照明とグリーンが見事に調和している。

心を癒す植物やアンティーク雑貨が置かれた棚はスチール製のサイドテーブルで、フランスで購入。照明はポートランドで購入したインダストリアルデザインを模した現行品。

1

2

1_ 絵はパリの「イデム」という130年以上の歴史をもつリトグラフ工房でデビッド・リンチが作った作品。Uさんが工房を訪れた際に偶然にご本人と会い、絵にサインも入れてもらった。

2_ リビングのメインテーブルに置かれたエアープランツ。その脇にはアロマキャンドルを配して夜には実際に灯をともし、自然に揺らぐ炎とアロマの香りを堪能しているとのこと。

リビングからはスカイツリーが見渡せ、日当たりがよく開放感がある。シンプルな家具をチョイスし、カラフルなラグやクッションを加えてアクセントに。アメリカ好きな遠藤さんらしく、ところどころに星条旗グッズも。

年月をかけて集めた各国の名品と、アメリカのヴィンテージをMIX。

＜ビームス＞で長らくファッションの仕事に携わってきた遠藤さん。8年前に新築で購入したマンションには、＜イームズ＞などの名作家具が多数置かれていた。

「アメリカのミッドセンチュリーやミリタリーなどの機能性に優れた家具が好きですね。MOMAのパーマネントコレクションなど、普遍的に愛されるデザインの家具を自然と選んでいます」。

ご自宅のインテリアは独身時代からコツコツ買い集めたというお気に入りの名品が多くあり、どれも現役で活躍中である。

そして、数々の名作ファニチャーのなかにアメリカのヴィンテージアイテムを加えることで、上質ながらも遠藤さんらしく、自然体にリラックスできる部屋となっている。

ROOM 23

OUTDOOR Lover's INTERIOR

間取り
3LDK

ROOM SPEC
エリア：東京都足立区
居住年数：8年
住宅形態：持ち家
築年数：8年

BEAMS
EC部門勤務
遠藤秀幸さん（42歳）

4

5

1

2

3

1_ ベッド脇のサイドテーブルには名作と知られているデンマークの＜ポール・ヘニングセン＞のデスクライト。窓際には、最近はまっているという手作りのドリームキャッチャーも。

2_ オレンジ色のチェアは、MOMA のパーマネントコレクションにも選ばれている＜ニーチェア X＞。＜ペンドルトン＞のラグをかけ、自宅でもアウトドアな気分を楽しんでいる。

3_ リビングにも＜ポール・ヘニングセン＞のライト。ダイニングにある＜エメコ＞のアルミのイスは、独身時代に「ビームスプラス」で一脚ずつ買いそろえて集めていった思い出の品。

4_ ヴィンテージの＜コールマン＞のランタンは、アメリカに買い付けに行ったときに見つけたもの。テレビボードは、＜USM＞のハラーシステム。キッチンも同じものでそろえる。

5_ 寝室のチェアには、キャンプにも持って行くブランケットがキレイに折り畳まれていた。＜パタゴニア＞や＜ラルフローレン＞、＜ペンドルトン＞など USA ブランドのものが多い。

1_ リビングのテレビボート横には、アートやデッキなどを飾って。手前にあるサーキュレーターはアメリカのボルネード社のもので、昔のモデルの復刻版。重厚な質感がはえる。

2_ 玄関横には、ハワイ関連のヴィンテージのポスターが。ハワイに行った時に空港などでもらうレイをドライフラワーにしてディスプレイ。現地から大切に持って帰ってきたそう。

3_ 3本脚が印象的なライトは、ミッドセンチュリーの名作で＜ルミナトール＞というカスティリオーニ兄弟がつくったモデル。名作家具を自然にインテリアになじませて使用していた。

3

2

1

Special Model

特大デッキとソトカウンターで
外へと広がる開放感を演出。

広々としたウッドデッキは、この家を語るうえで外せない仕様のひとつ。本モデル特別仕様のソトカウンターを設けることで、活用の幅もグンとUPした。

「住む」より「楽しむ」BESSの家

ソトカウンターで"大きく暮らす"を体感。

「ファントム マッハ-S」で楽しむ アウトドア的な暮らしのススメ。

シャープな外観と、木のやわらかさの感じる室内のコントラストが印象的なワンダーデバイス。今回、そんな人気シリーズの中から、「ファントム マッハ-S」が期間限定の特別モデルとしてリリース。ソトもナカも分け隔てなく行ききする、僕ら"外遊び好き"のためのモデルといっても過言ではない、新鮮かつユニークなこだわりがたっぷりと詰まっている。

TEXT／Tsubasa Iwata (RIDE MEDIA&DESIGN)

ワンダーデバイス「ファントム マッハ-S」の3つのポイント

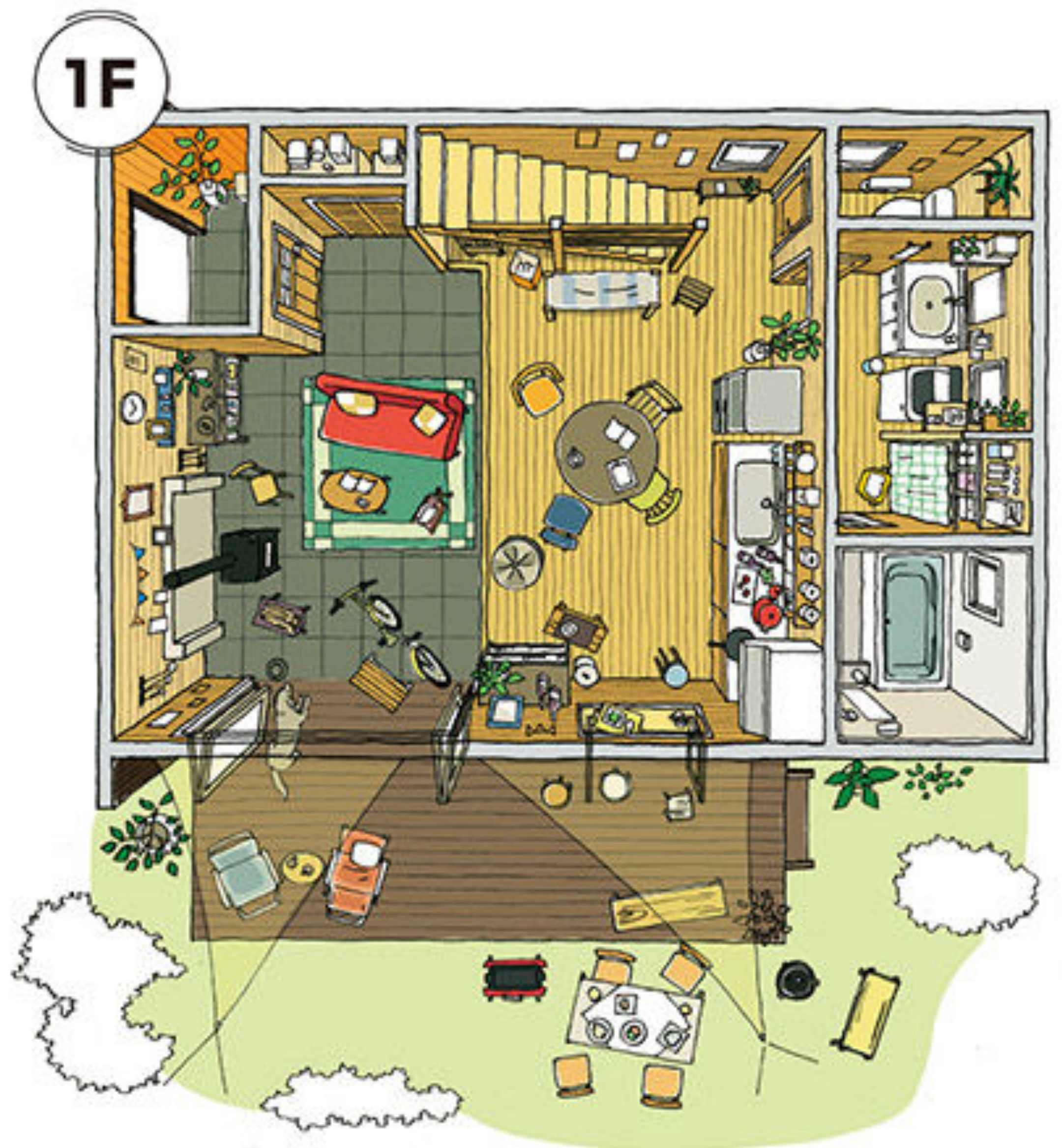
1 使い方は自分次第！
ソトとナカを自由につなぐ、開放的な土間。

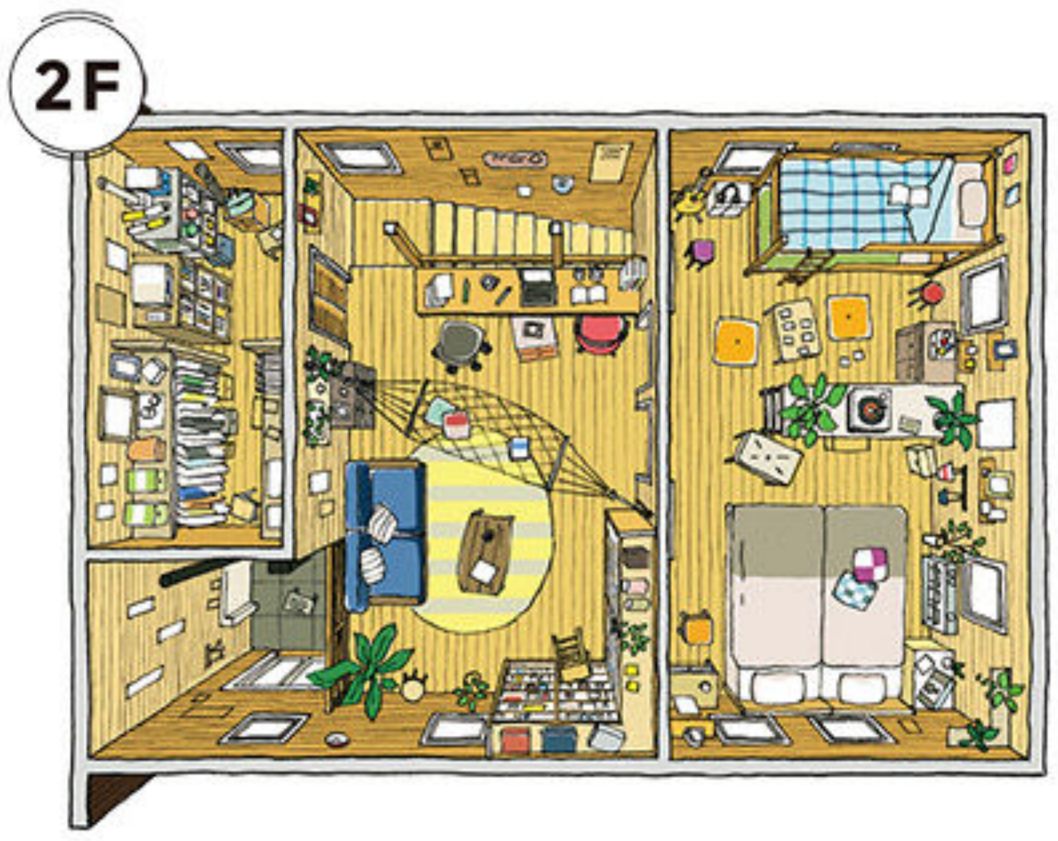
2 キッチンと窓でつながるソトカウンターで
大きなウッドデッキを 120%活用できる。

3 小さく建てて、大きく暮らす。
BESS の家だから実現した、魅力的なプライス！

"実用的"と"楽しい"を両立した外遊び好きのためのシームレスな暮らし。

「家のナカはこんな風にしたい」「庭はこんな感じがいい」、100 人いればこだわりも 100 通りあるのが当たりまえ。しかし、家のナカ&ソトを分け隔てなく"自分の場所"として考える僕ら自称"外遊び好き"にマッチする家ってなかなか見つからないのが本音。「ファントム マッハ -S」は楽しく、気持ちよく、を優先してプランニングされた遊びごころが随所に詰まっている。土間とひとつながりになった6メートル越えのウッドデッキには、キッチンと外をつなぐソトカウンターを配置。室内は、役割で部屋を細かく仕切るのではなく、開放的な間取りで"自由度"に敏感な僕らの心を掻き立ててくれる。生活の中心をどこに置くのか？「ファントム マッハ -S」は、そんな既存の概念にとらわれない"僕だけのスタイル"で暮らすお手伝いをしてくれる"大きさ"さえ兼ね備えているのだ。





さまざまな用途に使える土間はフルオープンサッシュで、幅 6.37、奥行き 2.4 メートルの特大デッキとひとつながりに。水回りを東側に集約することで生まれる 19 畳のリビングが、空間により一体感をプラス。2 階には、自由なロフトと、機能的な大型ストレージを兼ね備えたプライベート空間で、1階とはまた違った過ごし方を楽しめる。

POINT

新発想のソトカウンターで自宅のウッドデッキが"行きつけのお店"に。

キッチンとデッキを結ぶソトカウンター。おしゃれなカフェさながらの佇まいを、自宅で楽しめるのはうれしい。見た目はもちろん、キッチンが窓でつながることで機能性も抜群。

まるでキャンプをしているかのような、開放的で、心地いいオープンデッキ。家族でゆったり楽しむのはもちろん、友人を集め自宅でパーティーをするにも適した自由度の高い空間。

Information

展示場で暮らし体感！

たっぷり生い茂った緑に囲まれた、公園のような BESS 展示場は北海道から鹿児島まで、全国に42ヵ所展開。「購入はまだ先の話」そんな方でも自分のペースで"暮らし"を体感できる。

30周年フェアのスペシャル価格

本体価格 **1,402万円**

(税込 15,141,600円)

期間限定：2016 年 8 月末まで

※施工する地域によって価格が異なります。

(問) 総合展示場「BESS スクエア」Tel：03-3462-7000 www.bess.jp

人気ショップに学ぶ、ユニークでオシャレなグッドディスプレイ。

SHOP DISPLAY STYLE SAMPLE

部屋にある好きなモノを片付けつつおしゃれに収納する。そうすればきっと家に帰るのが楽しみになるはず。
簡単だけど工夫されたディスプレイ見本を、人気のショップに学んでみよう。ぜひ自宅でも真似してみてほしい。

Photo ／ Akiko Fukada　Text ／ Yuta Nakayama

SAMPLE 01

SHOP INFORMATION

SAMPLE 01-04 | VOIRY STORE

住　所：東京都目黒区目黒4-15-3 Nビル1号
Ｔｅｌ：03-6451-0883
営業時間：12:00 ～ 20:00
定 休 日：日曜日、祝日

》POINT

ドライフラワーが飾られた<ヴォイリーストア>のエプロンバッグ。使用用途とは異なるが、吊るして収納する道具としても空間にハマる。風合いのいい素材が表情の豊かさを広げてくれる。

Use Item

エプロンバッグ

オリジナルで展開するプロダクト。腰に巻けばエプロン、肩に掛ければバッグ、そして見せる収納としても変化する多彩な面を見せる。

》POINT

<ヴォイリーストア>オリジナルのゴム手袋を、クリップで挟み吊り下げた。クイックかつ簡単に連結できるフックとクリップの組み合わせは、自宅でも気軽に真似できるのでぜひ。

Use Item

クリップ

紙や布などをすぐまとめられる汎用性の高さは、D.I.Y.には重宝したいアイテム。持ち手が空いているぶん、吊り下げるディスプレイに役立つ。

モノの特性を利用した見事なディスプレイ。

店内に入ったらすぐ目につく、ヴィンテージライクな吊り鉢。主張しすぎない存在感はあるだけでもさまになる。フック部分を活用し、ヒモやクリップを使用して引っ掛けられた飾りが並ぶ。あえてフックは全部使わないことで、適度な抜け感を演出。掛けるモノもエプロンバッグやゴム手袋など、大小にメリハリをつけてバランス感を整えた。

SAMPLE 02

》POINT

ボックスを連結するのは、コンパクトサイズのＣクランプ。シンプルで無機質な見た目は、見せるディスプレイ作りに使いやすく、そして違和感無く溶け込む。頑丈さは申し分ない。

Use Item

木箱

ナチュラルなウッドの温もりをそのままに、３段の棚として使用した。着色ニスやアクリル絵の具を塗って、リメイクしても楽しそうだ。

Cクランプ

ホームセンターで安く販売されているＣクランプを、木箱同士を固定させるために活用。無機質で無駄のないデザインは高い利便性を誇る。

万力や材木もそのままにあえて"雑多感"を見せる。

木の板や箱を用いたD.I.Y. だが、随所はまだ完成されていない。それこそこのディスプレイのミソ。アメリカのガソリンスタンドにある売店や学校の購買部をイメージして作ったという店内は、作りすぎないカジュアル感が重要なのだ。いたるところにこのようなおもしろい発見があり、長居しても飽きない空間が作られている。

SAMPLE 03

Use Item

S字フック

さまざまな使用用途があるＳ字フック。プラスチック製やステンレスなど、素材も幅広い。吊り下げる見せる収納には欠かせないアイテム。

場所を取らない、キャップツリー。

オリジナル、ユーズド、リメイクそれぞれのキャップが吊るされたディスプレイ。チェーンを天井から吊るして、Ｓ字フックをキャップに付けて掛ける。何かとかさばるキャップの収納を、上下の空間を活かしたことで無駄に場所を取らず、見事に仕上げた。また、シルバーの金属なら主張しないので、インテリアの一部としてなじむ。

》POINT

キャップのシルエットは、重ね重ねでも問題なく掛けられる。そして使用感のあるクタッとした生地が、店内から伝わる古きよきアメリカの雰囲気作りに一役買い、一石二鳥といえる。

SAMPLE 04

保存容器を利用して、商品の素材感をいかす。

ストローハットやニットキャップなど、丸めてもラフにしまっても形を崩しにくい素材の特性を利用して、筒状の保存容器を活用。ガラス瓶は100円ショップなら形、大小さまざまにそろっているので、自宅でも気軽にチャレンジできる。例えば、カットソーをたたんだあとにクルクル丸めて入れたり、頻繁に使うソックスの収納にも役立つだろう。

》POINT

ニット素材の柔軟さが活かされたガラス瓶の活用術。透明なので、カラフルなニット帽が混ざりおもしろい雰囲気に。きれいに並べなくても１ヵ所にまとめることで、統一感は生まれる。

》POINT

ジャパンメイドのペーパーストローハット。ライトな素材感のため、小さな筒にもコンパクトにしまえる。普通の保存容器でもシールを貼ることで、インテリアに様変わりする。

SAMPLE 05

有孔ボードの特性なら、個性的な品もこの通り。

今人気の松陰神社前で新しいコンセプトに挑戦するテナント、松蔭プラットの 2F に 3 店舗目となる「フリッジセタガヤ」のアンテナショップがオープン。お世辞にも広いとはいえない店内は、壁に配した有孔ボードにより圧迫感が払拭されている。静岡の伝統芸能を駆使したブランド<シーシー>などの個性派アイテムも、まとまりのある雰囲気にディスプレイされていた。

》POINT

「P.F.S. パーツセンター」で購入した固定金具を利用して、2×4 の角材と天井に備えられた木材を連結。角に空いたスペースをムダなく活用して、一体感のある空間を作った。

Use Item

固定金具

角材を固定するための金具。突っ張り棒のように微調整ができるため、クイックな D.I.Y. が可能。賃貸物件のカスタマイズに活躍する。

》POINT

フックを使わずに、有孔ボードに小分けの収納ボックスを取り付けた。手軽に雰囲気を変えられるのは有孔ボードならでは。こちらも「P.F.S. パーツセンター」で購入したもの。

SAMPLE 06

》POINT

巻いて整列させることで、民族調の柄に動きのある表情をプラスした。この独特な色味は、本来の異国情緒たっぷりなカラーリングに、奄美大島で藍染め、泥染、藍泥染にしたもの。

吊るして巻くことで、雰囲気をより魅力的に。

木材に巻かれたのは<ライトイヤーズ>というブランドのキリム。トルコの遊牧民が織る平織りの織りもので、彼らの日々の暮らしに豊かさを与える装飾品である。大きなサイズ感だけに吊るすことでインパクトが増す。床に敷いたり壁に掛ける以外に、巻いて吊るしても楽しめるのだ。棒に掛けてパーテーション代わりにも使うこともできる。

SAMPLE 07

》POINT

木材の棚は先の長いフックを使用してディスプレイ。同店はおおよそ 2ヵ月に一度、大幅なレイアウト替えをするそうで、仕様変更が簡単な有孔ボードはぴったりの D.I.Y. 道具。

規則正しく並べられた商品。ここでも有孔ボードが活躍。

整然と並べられた<アポテーケフレグランス>の全ラインナップを支えるのは、自然な温もりを感じる有孔ボードと木材、そしてフックだ。木材は上下で濃淡のメリハリをつけて変化を出し、商品が際立つようディスプレイ。穴のピッチは 30mm、穴径 8mm の国内規格のもので、「ビバホーム」で購入。ちなみに、オーナーはアロマテラピスト。

SHOP INFORMATION

SAMPLE 05-07 | fridge setagaya 別館二階

住　所：東京都世田谷区世田谷4-13-20
　　　：松陰PLAT2-3
Ｔｅｌ：03-5799-4786
　　　：(fridge setagaya "central")
営業時間　12:00 ～ 20:00 ※不定
定 休 日　不定休

SAMPLE 08

Use Item

木製のカルテケース

ヴィンテージの風合いがハマるカルテケースは、古書などの味のあるモノの収納に相性が合う。インテリアとしても持っていたい。

》POINT

ヴィンテージのカルテケースを書籍入れとして活用。本こそ見せる収納の腕の見せどころなだけあって、店内のディスプレイはこういった味のある家具や入れ物を利用している。

棚と古書の相乗効果でヴィンテージ感を演出。

店内にはオーナーの中村さんが、海外や古本屋から仕入れた本約6000冊が並ぶ。その中でも一際目立つディスプレイが、古いペーパーバックを古道具のカルテケースに縦挿ししたこちら。中村さんいわく、扱っている本は「いつか役に立つ、いい本」だそうで、運命に導かれて来店し購入する人を待っているような佇まいを感じさせる。

SAMPLE 09

Use Item

鉢＆スタンド

町のお花屋さんでよく見かけると思うが、使い方の違いでクールな雰囲気に変わる。アンティーク調な店内の盛り上げ役としても、力を発揮する。

》POINT

ガーデニングで使用される鉢に、使い古されたレターワッペンをギュッと収納。インテリアの一部として、やはり見せることを意識した選択に。使い方次第でおもしろい印象になる。

レトロテイストの存在感に古紙がマッチ。

<ディー＆デパートメント>で購入したという、用途不明の什器をディスプレイに使用。ヴィンテージのレターワッペンと'60、'70年代の型紙を無造作に収納している。ほかにも、定期的に店内で開催するイベントなどでは、ワインクーラーとしても姿を変えるそうだ。落ち着きのある店内の照明にもハマり、オブジェとしての顔にも。

SAMPLE 10

粋な世界観が詰まった、小さなディスプレイ。

天井から吊るした鳥かごの中に、鳥に関する本だったり鳥がタイトルやカバーになっている本をメタフォリカルにディスプレイ。ご覧の通り、鳥の形をした置物やグリーンも加えて、目をひく工夫を施している。本屋の空気感が好きという中村さんゆえの、見惚れてしまう演出だ。ヴィンテージな風合いも店内の雰囲気と絶妙にマッチ。

SHOP INFORMATION

SAMPLE 08-10

SNOW SHOVELING BOOKS & GALLERY

住　所：東京都世田谷区深沢 4-35-7 深沢ビル2F
Ｔｅｌ：03-6325-3435
営業時間：13:00 〜 19:00
定休日：火曜日、水曜日

SAMPLE 11

》POINT

丸太の切れ端を台として使用。ディスプレイとしてはもちろん、インテリアとしても使いたい。こちらは木部本体がそのままキャンドルの役割をし、徐々に燃焼するログキャンドル。

Use Item

コット

キャンプに欠かせないギア、コットをディスプレイの一部として使用。クッション性に優れているので、柔らかい素材のものと相性がいい。

》POINT

アウトドアグッズを陳列棚として利用したことで、＜イナウト＞のコンセプトに違和感なく溶け込んだ。コットの上には、外から目につきやすいようオリジナルTシャツをレイアウト。

徹底した雰囲気作りは、一貫性のある道具が鍵。

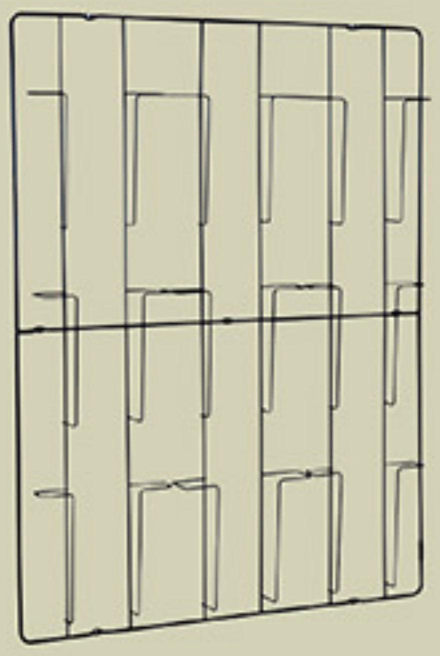
家の中と外をシームレスに繋ぐ、オリジナルファニチャーブランドの＜イナウト＞。店内はリビング、キャンプ、ガレージそれぞれのシーンに合う商品展開や内装がされている。入り口横のウインドウ面は、奥につながるアウトドアシーンのレイアウトと一体感のあるディスプレイに仕上がっている。見せる収納にアウトドアギアを活用した好例だ。

SAMPLE 12

物の本質を見極めて、収納の可能性を高める。

＜イナウト＞オリジナルのコーヒー。パッケージデザインそのものがディスプレイになるかっこよさがポイントになっている。ギフトに最適なシングルパックは手に取りやすい回転式タワーを使用して高さを出しつつ、あえてシンプルなレイアウトに仕上げた。ポストカード程度のサイズ感であれば、別のものでもおしゃれに収納できる。

Use Item



レターラック

ポストカードサイズのものであれば、収納スペースとして活用可能。立て掛けるのもいいが、フックやヒモを使い吊り下げてもおしゃれ。

》POINT

大きさがちょうどよくハマったことで、回転式タワーを効果的に活用。同じ種類のアイテムを整然と並べると、アート作品のような印象に。オリジナルコーヒーはイチからブレンドし作られている。

SAMPLE 13

》POINT

無機質な鍋だからこそ、見せる収納にはぴったり。詰め込まれた小物たちの無造作感が、より一層雰囲気を昇華させる。使う道具に注意を払えば、簡単におしゃれ収納を作れる。

入るもの＝容器。シンプル鍋も収納に利用。

アウトドアグッズの収納を想像させるレイアウトは、作り込みすぎないことがキーポイントになる。こちらのディスプレイは、スタックボックスの棚に＜ロッジ＞の商品がズラリと並んだ。ディスプレイのアクセントとして一役買っているデッドストックの鍋には、便利な小物をラインナップ。お店のテーマを具現化したかのような、工夫が詰まっている。

SHOP INFORMATION

SAMPLE 11-13 | INOUT

住　所：東京都中央区東日本橋 3-11-10
　　　：ユタカビル 1F
Tel：03-6661-7227
営業時間：月～金 12:00 ～ 20:30、
定休日　　土日祝日 12:00 ～ 18:00
　　　　　火曜日、水曜日

SAMPLE 14

》POINT

ヒモを使って連結させる場合は、同じサイズの瓶を使うとつなげやすい。また、見た目にも統一感が生まれるので、ぜひ試してみてほしい。こちらの瓶はアンティークミルクボトル。

好みの瓶をつなげて作る、オリジナルスタンド。

世界中を巡って発掘した古いものと新しいものを展開する「タイトルズ」。ショップコンセプトを小さなディスプレイに表現したかのような、そんなことを思わせるシャレた収納術がこちら。ヴィンテージ感漂う透明瓶とヒモを使い、横に並べてつなげる。中にはカラフルな歯ブラシを展示し、適度なメリハリを効かせた。ほかに、花瓶としても使えそうな印象だ。

Use Item

麻ヒモ

ここ最近、鉢やコップなどの入れ物を吊るすのに使われる麻ヒモ。丈夫かつ自然体な空気感で、ナチュラルテイストの空間にマッチ。

SAMPLE 15

》POINT

鉢を麻ヒモで巻いて吊るし下げたディスプレイ。中には数種類のエアプランツを収納し、爽やかさをアピール。グリーンはただ単に置くのではなく、見せ方を工夫するとおもしろい。

古びた木製のドアを、ディスプレイツールに。

古いドアをディスプレイツールとして活用するために、フックやドアノブを取り付けた。加えて、エアプランツなどのグリーン要素を融合させてクリーンな印象に。店内にはこのような、少しの工夫でおしゃれなディスプレイに仕上げているコーナーがたくさんある。そのすべてがスタッフたちによるアイデアで生まれているのだ。

SHOP INFORMATION

SAMPLE 14.15 | TITLES

住　所：東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-60-5
：オー・アール・ディ原宿ビル 1F
Ｔｅｌ：03-6434-0421
営業時間：9:00 ～ 20:00
定休日　年中無休（但し､年末年始等臨時休業有り）

SAMPLE 17

SAMPLE 16

》POINT

ガーデニンググッズとグリーンを掛け合わせて、味のあるフレッシュな見せる収納に。軒先の風景をイメージしたディスプレイに難なく溶け込んだ。

》POINT

小枝を束ねて吊るし下げたディスプレイ。木と相性抜群のエアプランツを添えれば、一気に雰囲気が出る。ちなみにグリーンはフェイクのもの。

身近な趣味を創造的に、見事可視化したお手本。

鉢やグリーンなどのガーデニンググッズを中心に仕上げられたディスプレイ。「ワークハンズ」が掲げる、ワークテイストのデイリーウェアやデザイン性のある生活雑貨を通じて、D.I.Y.、園芸、クッキングなどの身近な趣味を創造的に楽しむライフスタイル、が詰まったコーナーだと見受けられる。これなら自分らしい空間を楽しめそうだ。

SHOP INFORMATION

SAMPLE 16.17 | WORK HANDS

住　所：東京都世田谷区玉川 2-21-1
：二子玉川ライズ・
：ショッピングセンタータウンフロント 3F
Ｔｅｌ：03-6432-7509
営業時間　10:00 ～ 21:00
定休日　2015 年については元旦のみ

最新号vol.81は、一冊丸ごと夏フェス仕様!!

好評発売中!

定価：680円 本体630円

GO OUTは、毎月30日発売。

三栄書房 SAN-EI SHOBO Publishing Co.,Ltd.

販売部 TEL03-6897-4611（受付時間／平日10:00～17:30）　〒160-8461 東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア7F　www.sun-a.com/

Shop List

◇のついたものはメーカー、プレスルームとなります。
メーカー、プレスルームはショップではないため、
通常の販売は行っておりません。ご注意ください。

ア

◇アウターリミッツ
tel : 03-5457-5637

アーバンリサーチ ドアーズ 渋谷モディ店
東京都渋谷区神南 1-21-3 渋谷モディ 4F
tel : 03-4336-8244

アクメ ファニチャー 渋谷店
東京都渋谷区神南 1-20-13
tel : 03-5728-5355

アメリカンラグ シー 渋谷店
東京都渋谷区神南 1-5-4
tel : 03-5459-7300

◇アンドワンダー
東京都渋谷区元代々木町 22-8
tel : 03-3468-2360

◇エイアンドエフ
東京都新宿区新宿 6-27-56 新宿スクエア 8F
tel : 03-3209-7579

カ

カリフォルニア デプト 原宿店
東京都渋谷区神宮前 4-28-20-2F
tel : 03-5413-6947

◇キキ
東京都世田谷区上北沢 4-33-21
tel : 03-5357-8107

◇クリップ クロップ
tel : 03-5793-8588

サ

ザ・ノース・フェイス スタンダード
東京都渋谷区神宮前 6-10-9
tel : 03-5464-2831

◇サラクス
東京都立川市曙町 1-25-12
tel : 042-526-1195

◇サードオフィス
東京都目黒区東山 3-8-1 東急池尻大橋ビル 6F
tel : 03-6825-8506

サンバス
東京都豊島区南長崎 5-24-17
tel : 03-6915-3414

ジャーナル スタンダード ファニチャー 渋谷店
東京都渋谷区神宮前 6-19-13
tel : 03-6419-1350

◇シュルリアル
tel : 047-395-5527

タ

鷹の爪
東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-19-12
tel : 03-3478-4844

◇チャング
東京都目黒区大橋 2-6-14
tel : 03-6804-7704

◇ツノカワファーム
東京都足立区舎人 4-7-9
tel : 03-5838-2035

◇ティグレ
東京都渋谷区鶯谷町2-8 ユニオンスクエアービルB1F
tel : 03-6427-8700

◇デイトナ・インターナショナル AME Div
tel : 03-3470-7422

ドゥニーム ルミネマン渋谷店
東京都渋谷区神南 1-22-11 ルミネマン渋谷 3F
tel : 03-5428-3702

ナ

◇ナップ
岡山県加賀郡吉備中央町上田東字ハチガハナ2395-5
tel : 0867-34-1117

ネイバーフッド 原宿
東京都渋谷区神宮前 4-32-7
tel : 03-3401-1201

ネペンテス
東京都渋谷区神宮前 5-44-1
tel : 03-3400-7227

ハ

パシフィック ファニチャー サービス
東京都渋谷区恵比寿南 1-20-4
tel : 03-3710-9865

ハミングバーズヒルショップ
東京都渋谷区恵比寿南 1-16-7
tel : 03-6412-8188

◇ビーグッドカンパニー
東京都渋谷区恵比寿南2-23-12 エビスサニービル3F
tel : 03-3791-1847

◇ブエナビスタ
tel : 03-6869-1970

フリッジ セタガヤ セントラル
東京都世田谷区世田谷 1-22-5
tel : 03-5799-4786

◇ブルーウッド
tel : 03-5709-1098

ブルーム&ブランチ青山
東京都港区南青山 5-10-5
tel : 03-6892-2014

◇ヘインズブランズ ジャパン
東京都新宿区信濃町 35
tel : 03-5361-2860

◇ペレグリン・ファニチャー
tel : 03-6712-2821

ベンダー
東京都目黒区青葉台 1-23-14
tel : 03-6452-3071

ポートオブコール代官山
東京都鶯谷町 1-3
tel : 03-3461-2822

◇ボルコム ジャパン
tel : 03-5771-4560

マ

MoMA デザインストア
東京都渋谷区神宮前 5-10-1 ジャイル 3F
tel : 03-5468-5801

ラ

◇ユナイト ナイン
tel : 03-5464-9976

..... リサーチ ジェネラルストア
東京都目黒区青葉台 1-14-11
tel : 03-3463-6376

ルート
東京都渋谷区猿楽町 4-5
tel : 03-6452-5867

◇レスキュースクワッド
東京都千代田区麹町 3-2-1
tel : 0120-97-9110

Editor in chief

Osaka Umeda（60MW）

Editor

Tsubasa Iwata（RIDE MEDIA&DESIGN inc.）
Masashi Echigo（RIDE MEDIA&DESIGN inc.）
Shiyori Kawamura（RIDE MEDIA&DESIGN inc.）
Yasufumi Kurayama（RIDE MEDIA&DESIGN inc.）
Kazuki Suzuki

Advertising staff

Tomoaki Suzuki
Gakuji Onozato
Mamoru Takahashi
Yui Okutani
Ayaka Saito

Designer

Masato Nakayama（forlife.design）
Daisuke Takeuchi（RIDE MEDIA&DESIGN inc.）

最先端のアウトドアファッションを配信中!!
GO OUTは毎月30日発売!!

www.goout.jp

ニューズムック
「ニューズムック GO OUT Livin' Vol.6」
2016年7月10日発行

発行人：鈴木 賢志
編集人：梅田 顕弘
印刷所：図書印刷株式会社
発行所：株式会社三栄書房
〒160-8461 東京都新宿区新宿 6-27-30 新宿イーストサイドスクエア 7F
広告 tel：03-6897-4622
編集 tel：03-6303-1609（ロクマルマガジンワークス）
受注センター tel：048-988-6011 fax：048-988-7651
販売 tel：03-6897-4611

■本誌掲載記事・写真などの無断掲載、複写を禁じます。

GET THE GLOVE

URBAN&OUTDOORGLOVE Since1848

Patented Pre-curve Design Genuine Leather Chrome Tanning

GRIP® SWANY

REVERT TO A WILD

GRIP SWANY

www.grip-swany.co.jp

TEL : 03-3306-1411
FAX : 03-3306-1791

〒156-0056 東京都世田谷区八幡山1-1-23
株式会社スワニー販売

ニューズムック GO OUT Livin' Vol.6 2016年7月10日発行
発行人：鈴木 賢志 編集人：梅田 顕弘 発行所：株式会社三栄書房 〒160-8461 東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイド スクエア7F 広告 TEL03-6897-4622 受注センター TEL048-988-6011 FAX048-988-7651 販売 TEL03-6897-4611

IDÉE SHOP

Jiyugaoka / Futako Tamagawa / Tokyo Midtown
Nihonbashi / Ikebukuro / Kashiwa

tel.03-5701-7555 (IDÉE SHOP Jiyugaoka)
www.idee.co.jp www.idee-online.com

ISBN978-4-7796-2903-7

C9476

9784779629037

1929476009173

SAN-EI SHOBO Publishing co.,Ltd.
PRINTED IN JAPAN 図書印刷